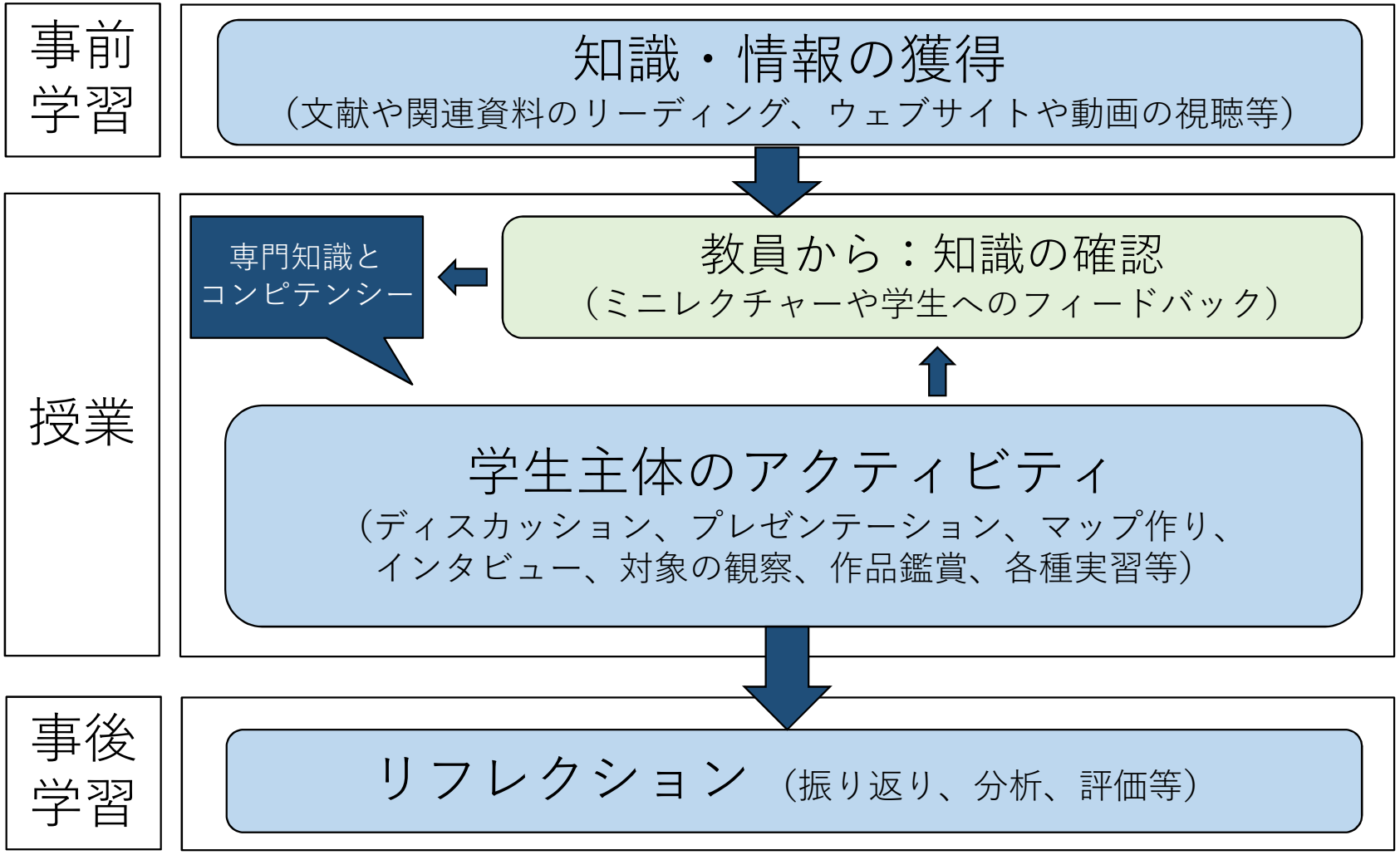
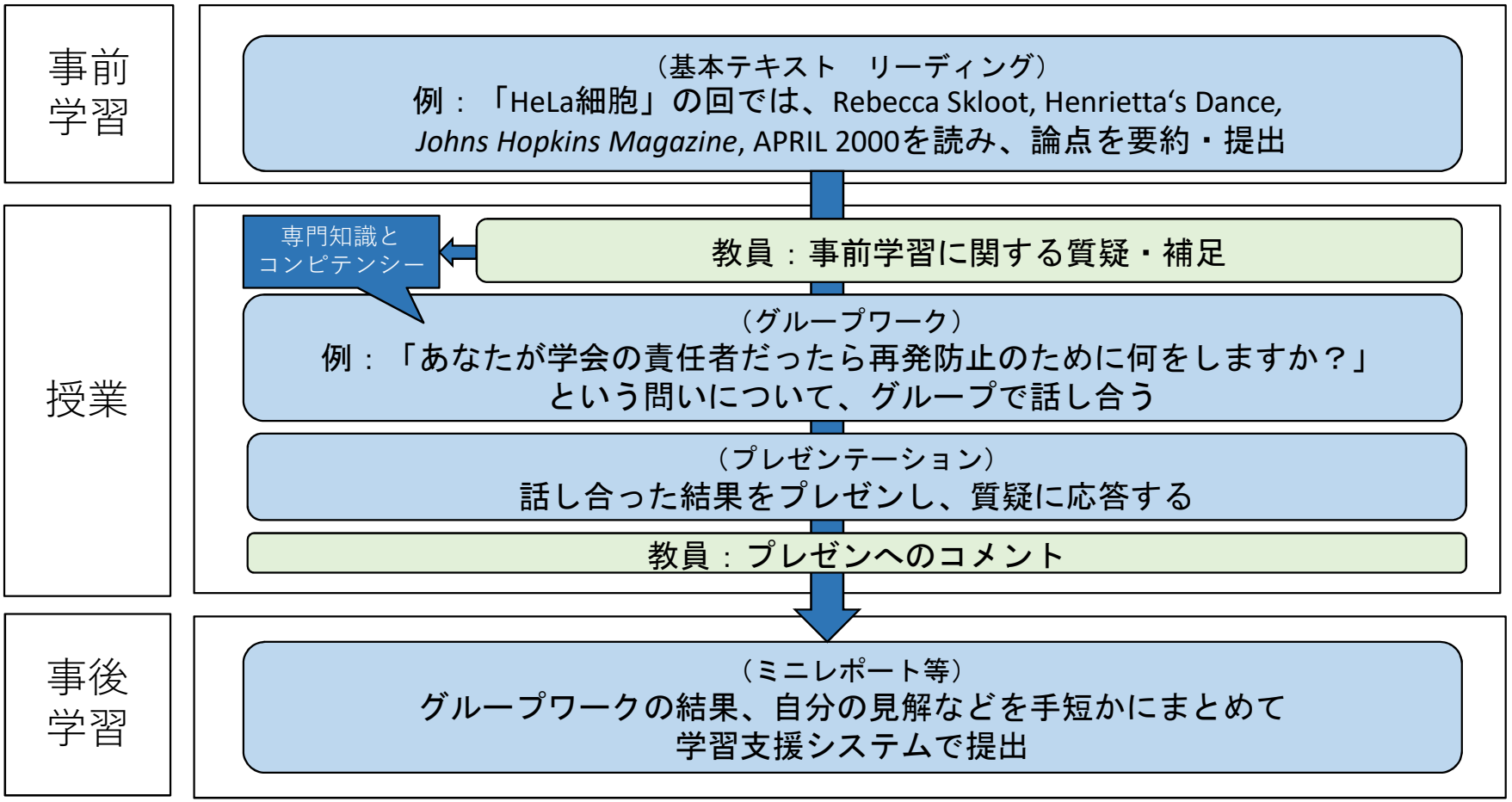
資料25

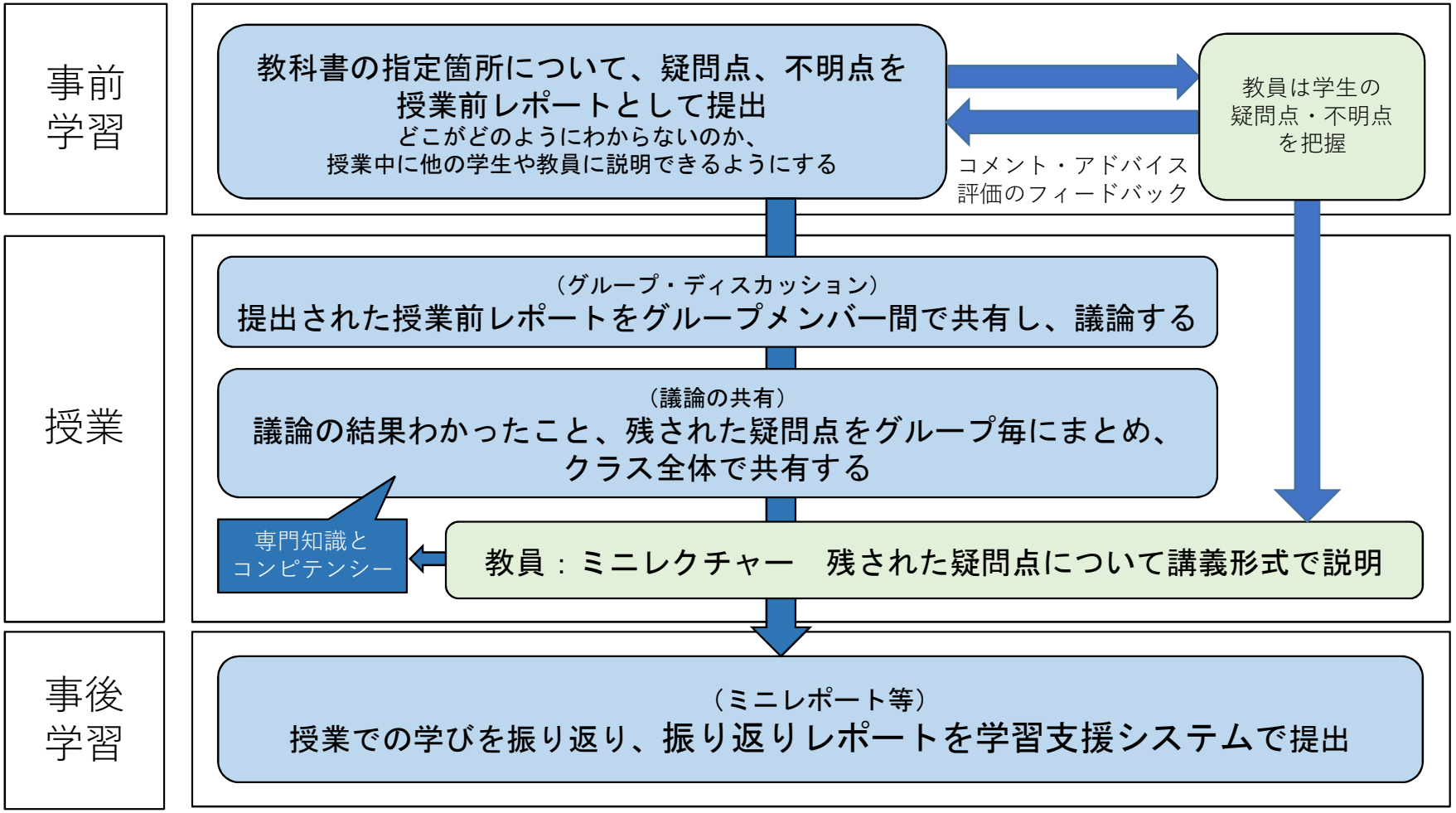
アクティブ・ラーニング
（基本モデル）



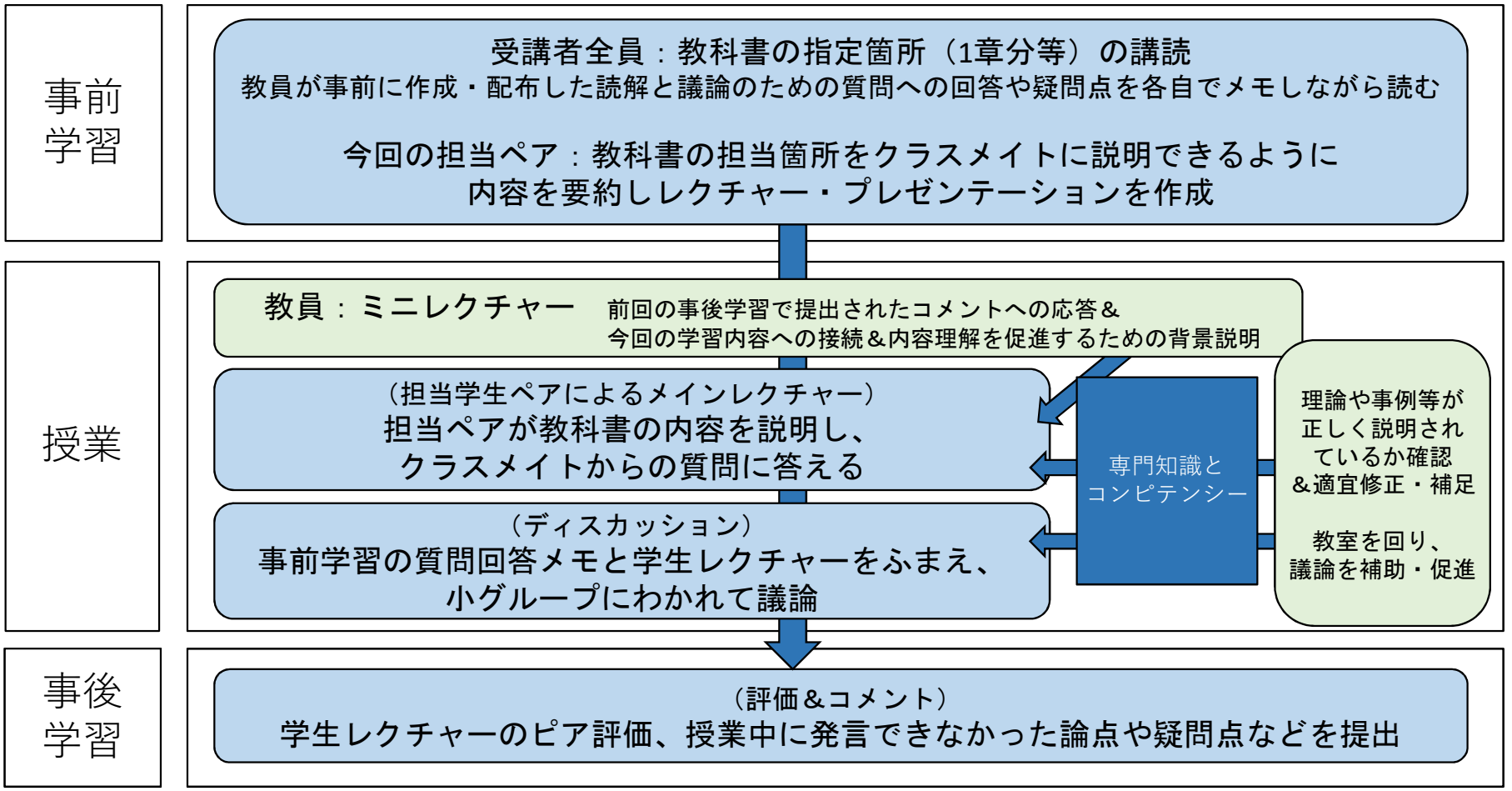
アクティブ・ラーニングのケース１
リベラルアーツ科目（基盤科目）（例：生命倫理学概論）



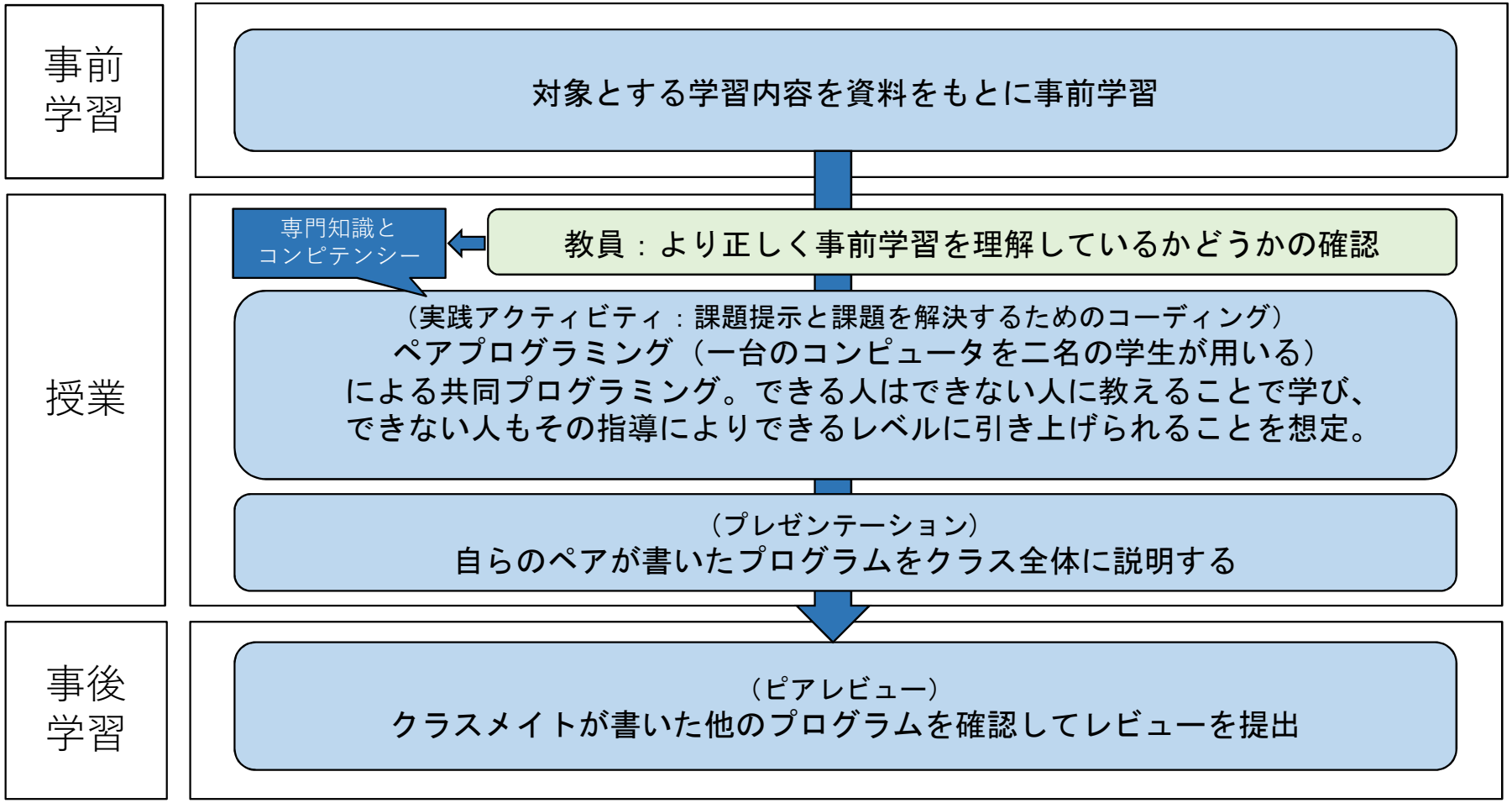
アクティブ・ラーニングのケース２
リベラルアーツ科目（発展科目）（例：環境経済学）



アクティブ・ラーニングのケース３
リベラルアーツ科目（発展科目）（例：文化人類学概論）

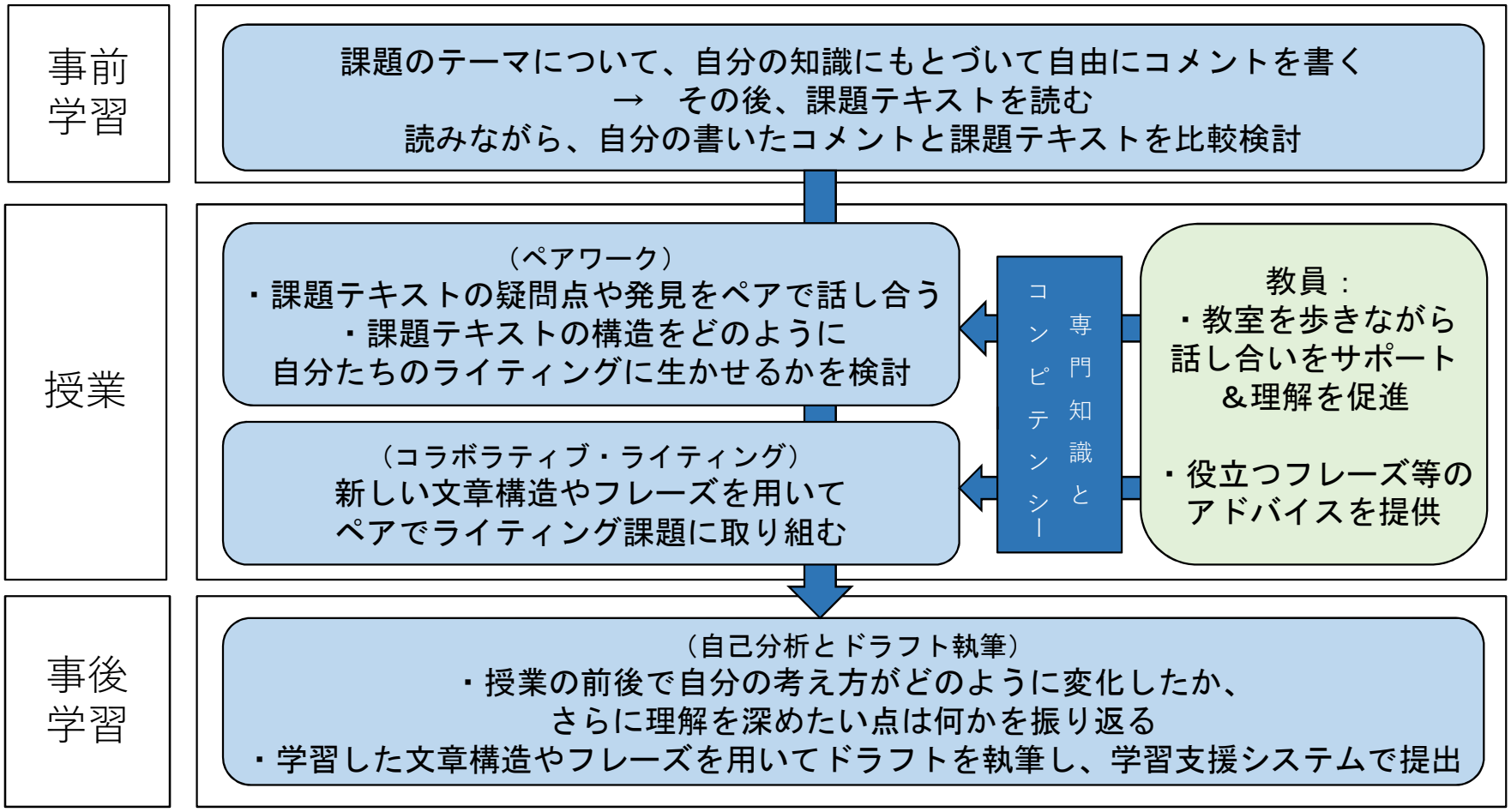


アクティブ・ラーニングのケース４
基本ツール科目　（例：プログラミング入門）



アクティブ・ラーニングのケース５
実践英語　（例：アカデミック・ライティング）

＊課題テキストやライティング課題、話し合いの使用言語はすべて英語



Y2024, 1Q

資料26-1

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	リスニング英語Ⅰ(前) クラスA E101A 【小講義室⑧】上杉	芸術・文学入門(前) L111 【中講義室②】ペトコヴァ	リスニング英語Ⅰ(前) クラスD E101D 【小講義室①】ニコラス	心理学概論(前) L211 【小講義室⑤】河瀬	リーディング英語Ⅰ(前) クラスA E103A 【小講義室①】上杉	ライティング英語Ⅰ(前) クラスD E102D 【小講義室④】ニコラス	リーディング英語Ⅰ(前) クラスD E103D 【小講義室⑧】ニコラス	科学技術倫理入門(前) L116 【中講義室②】石村・粥川	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(前)クラスA/E105A 【小講義室①】アラン	経済学入門(前) L113 【中講義室①】石川
	リスニング英語Ⅰ(前) クラスB E101B 【小講義室⑨】バロウズ	哲学・倫理学(前) L311 【中講義室③】笠木	リスニング英語Ⅰ(前) クラスE E101E 【小講義室②】モニカ	多文化共生社会論(前) L312 【小講義室⑥】瀬古	リーディング英語Ⅰ(前) クラスB E103B 【小講義室②】バロウズ		リーディング英語Ⅰ(前) クラスE E103E 【小講義室⑨】谷本	環境経済学(前) L381 【中講義室④】石川	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(前)クラスB/E105B 【小講義室②】キャロライン	公共経営論(前) L321 【中講義室④】保井
	リスニング英語Ⅰ(前) クラスC E101C 【小講義室⑩】ヴァヒド	経営戦略・組織論(前) L351 【中講義室④】瓜生原	アカデミックリーディング(前) E201 【小講義室③】アラン	自然災害論(前) L391 【小講義室⑦】山田	リーディング英語Ⅰ(前) クラスC E103C 【小講義室③】ヴァヒド		アカデミックライティング(後) E202 【小講義室⑩】キャロライン	データ分析と統計モデリング(前) T206 【小講義室④】市村	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(前)クラスC/E105C 【小講義室③】クセン	都市環境論(前) L392 【中講義室⑤】下ヶ橋
	データサイエンス概論A(前) T103 【小講義室⑦】山田・市村	開発経済学(前) L383 【中講義室①】李	ICT入門(前) T101 【小講義室④】土本	持続可能な世界と私たち(前) L401 【中講義室①②】有信・保井					プロジェクトマネジメント(前) T221 【小講義室④】瀬古	生命倫理学概論(前) L217 【中講義室③】粥川
			ヘルスケアサービス論(前) L332 【中講義室③】瓜生原							
2限	リスニング英語Ⅰ(後) クラスA E101A 【小講義室⑧】上杉	芸術・文学入門(後) L111 【中講義室②】ペトコヴァ	リスニング英語Ⅰ(後) クラスD E101D 【小講義室①】ニコラス	心理学概論(後) L211 【小講義室⑤】河瀬	リーディング英語Ⅰ(後) クラスA E103A 【小講義室①】上杉	ライティング英語Ⅰ(後) クラスD E102D 【小講義室④】ニコラス	リーディング英語Ⅰ(後) クラスD E103D 【小講義室⑧】ニコラス	科学技術倫理入門(後) L116 【中講義室②】石村・粥川	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(後)クラスA/E105A 【小講義室①】アラン	経済学入門(後) L113 【中講義室①】石川
	リスニング英語Ⅰ(後) クラスB E101B 【小講義室⑨】バロウズ	哲学・倫理学(後) L311 【中講義室③】笠木	リスニング英語Ⅰ(後) クラスE E101E 【小講義室②】モニカ	多文化共生社会論(後) L312 【小講義室⑥】瀬古	リーディング英語Ⅰ(後) クラスB E103B 【小講義室②】バロウズ		リーディング英語Ⅰ(後) クラスE E103E 【小講義室⑨】谷本	環境経済学(後) L381 【中講義室④】石川	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(後)クラスB/E105B 【小講義室②】キャロライン	公共経営論(後) L321 【中講義室④】保井
	リスニング英語Ⅰ(後) クラスC E101C 【小講義室⑩】ヴァヒド	経営戦略・組織論(後) L351 【中講義室④】瓜生原	アカデミックライティング(前) E202 【小講義室③】キャロライン	自然災害論(後) L391 【小講義室⑦】山田	リーディング英語Ⅰ(後) クラスC E103C 【小講義室③】ヴァヒド		アカデミックリーディング(後) E201 【小講義室⑩】アラン	データ分析と統計モデリング(後) T206 【小講義室④】市村	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(後)クラスC/E105C 【小講義室③】クセン	都市環境論(後) L392 【中講義室⑤】下ヶ橋
	データサイエンス概論A(後) T103 【小講義室⑦】山田・市村	開発経済学(後) L383 【中講義室①】李	ICT入門(後) T101 【小講義室④】土本	持続可能な世界と私たち(後) L401 【中講義室①②】有信・保井					プロジェクトマネジメント(後) T221 【小講義室④】瀬古	生命倫理学概論(後) L217 【中講義室③】粥川
			ヘルスケアサービス論(後) L332 【中講義室③】瓜生原							
3限	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(前)クラスD/E105D 【小講義室⑤】エドワード	宗教と歴史(前) L213 【中講義室①】鄭	ライティング英語Ⅰ(前) クラスA E102A 【小講義室⑤】上杉	哲学・倫理学入門(前) L112 【中講義室④】笠木	ライティング英語Ⅰ(前) クラスE E102E 【小講義室⑤】谷本		スピーキング英語Ⅰ(前) クラスA E104A 【小講義室⑤】上杉	法的思考(前) L114 【中講義室⑤】高須	スピーキング英語Ⅰ(前) クラスD E104D 【小講義室⑤】ニコラス	環境学入門(前) L115 【中講義室②】下ヶ橋
	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(前)クラスE/E105E 【小講義室⑥】吉本	経営学概論(前) L214 【中講義室②】瓜生原	ライティング英語Ⅰ(前) クラスB E102B 【小講義室⑥】バロウズ	ファイナンス論(前) L353 【中講義室③】高橋			スピーキング英語Ⅰ(前) クラスB E104B 【小講義室⑥】バロウズ	マーケティング論(前) L352 【中講義室④】瓜生原	スピーキング英語Ⅰ(前) クラスE E104E 【小講義室⑥】モニカ	認知科学概論(前) L331 【中講義室③】河瀬
	データサイエンス概論A(前) T103 【小講義室⑦】山田・市村		ライティング英語Ⅰ(前) クラスC E102C 【小講義室⑦】ヴァヒド	環境工学(前) L393 【中講義室⑤】下ヶ橋			スピーキング英語Ⅰ(前) クラスC E104C 【小講義室⑦】ヴァヒド	文化人類学概論(前) L371 【中講義室③】田口	日本語アカデミックライティング(前) T223 【小講義室⑧】石村	バイオテクノロジー論(前) L361 【中講義室④】ラサール
	ウェブプログラミングとアプリ開発(前) T201 【小講義室①】宇野	課題解決演習ⅠAクラスA(前) P201A 【小講義室③】小野	情報発信技法(前) T202 【小講義室⑧】土本				ロジカルシンキング(前) T121 【小講義室①】笠木	課題解決演習ⅡクラスA(前) P301A 【小講義室③】小野		
	課題解決演習ⅠAクラスB(前) P201B 【小講義室②】笠木	課題解決演習ⅠBクラスA(前) P202A 【小講義室④】河瀬	データサイエンス概論A(前) T103 【小講義室④】山田・市村				課題解決演習ⅡクラスB(前) P301B 【小講義室②】ペトコヴァ	課題解決演習ⅡクラスC(前) P301C 【小講義室④】ラサール	【木曜日3限】 データサイエンス概論A(前) T103 【小講義室⑧】山田・市村	
4限	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(後)クラスD/E105D 【小講義室⑤】エドワード	宗教と歴史(後) L213 【中講義室①】鄭	ライティング英語Ⅰ(後) クラスA E102A 【小講義室⑤】上杉	哲学・倫理学入門(後) L112 【中講義室④】笠木	ライティング英語Ⅰ(後) クラスE E102E 【小講義室⑤】谷本		スピーキング英語Ⅰ(後) クラスA E104A 【小講義室⑤】上杉	法的思考(後) L114 【中講義室⑤】高須	スピーキング英語Ⅰ(後) クラスD E104D 【小講義室⑤】ニコラス	環境学入門(後) L115 【中講義室②】下ヶ橋
	プレゼンテーション英語基礎Ⅰ(後)クラスE/E105E 【小講義室⑥】吉本	経営学概論(後) L214 【中講義室②】瓜生原	ライティング英語Ⅰ(後) クラスB E102B 【小講義室⑥】バロウズ	ファイナンス論(後) L353 【中講義室③】高橋			スピーキング英語Ⅰ(後) クラスB E104B 【小講義室⑥】バロウズ	マーケティング論(後) L352 【中講義室④】瓜生原	スピーキング英語Ⅰ(後) クラスE E104E 【小講義室⑥】モニカ	認知科学概論(後) L331 【中講義室③】河瀬
	データサイエンス概論A(後) T103 【小講義室⑦】山田・市村		ライティング英語Ⅰ(後) クラスC E102C 【小講義室⑦】ヴァヒド	環境工学(後) L393 【中講義室⑤】下ヶ橋			スピーキング英語Ⅰ(後) クラスC E104C 【小講義室⑦】ヴァヒド	文化人類学概論(後) L371 【中講義室③】田口	日本語アカデミックライティング(後) T223 【小講義室⑧】石村	バイオテクノロジー論(後) L361 【中講義室④】ラサール
	ウェブプログラミングとアプリ開発(後) T201 【小講義室①】宇野	課題解決演習ⅠAクラスA(後) P201A 【小講義室③】小野	情報発信技法(後) T202 【小講義室⑧】土本				ロジカルシンキング(後) T121 【小講義室①】笠木	課題解決演習ⅡクラスA(後) P301A 【小講義室③】小野		
	課題解決演習ⅠAクラスB(後) P201B 【小講義室②】笠木	課題解決演習ⅠBクラスA(後) P202A 【小講義室④】河瀬	データサイエンス概論A(後) T103 【小講義室④】山田・市村				課題解決演習ⅡクラスB(後) P301B 【小講義室②】ペトコヴァ	課題解決演習ⅡクラスC(後) P301C 【小講義室④】ラサール	【木曜日4限】 データサイエンス概論A(後) T103 【小講義室⑧】山田・市村	
5限										

ID アイデンティティデザイン　BD ビジネスデザイン　ED エコシステムデザイン

英語開講　日本語開講

ソーシャルシステムデザイン入門 L101 【中講義室①②】保井

課題解決入門 小野・河瀬・ラサール・山田 P101 【中講義室①②】

科学哲学概論 L316 【中講義室③】戸田山

1Q前のギャップ期間に開講

卒業プロジェクト

ゼミ形式で開講
全教員が担当
主に5/6限に配置

実践英語　LA科目　基本ツール科目

PBL科目　日本語科目

Y2024, 2Q

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1限	リスニング英語Ⅱ(前) クラスA E106A 【小講義室⑧】上杉	芸術・文学入門(前) L111 【中講義室①】ペトコヴァ	リスニング英語Ⅱ(前) クラスD E106D 【小講義室①】ニコラス	哲学・倫理学入門(前) L112 【中講義室①】笠木	リーディング英語Ⅱ(前) クラスA E108A 【小講義室①】上杉	ライティング英語Ⅱ(前) クラスD E107D 【小講義室④】ニコラス	リーディング英語Ⅱ(前) クラスD E108D 【小講義室⑧】ニコラス	科学技術倫理入門(前) L116 【中講義室①】石村・粥川	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(前)クラスA/E110A 【小講義室①】アラン	経済学入門(前) L113 【中講義室①】石川
	リスニング英語Ⅱ(前) クラスB E106B 【小講義室⑨】バロウズ	社会経済システム論(前) L355 【中講義室④】保井	リスニング英語Ⅱ(前) クラスE E106E 【小講義室②】モニカ	国際協力・安全保障概論(前) L215 【中講義室③】高須・瀬古	リーディング英語Ⅱ(前) クラスB E108B 【小講義室②】バロウズ		リーディング英語Ⅱ(前) クラスE E108E 【小講義室⑨】谷本	地域協働論(前) L322 【中講義室④】早田	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(前)クラスB/E110B 【小講義室②】キャロライン	メディア論(前) L313 【中講義室③】粥川
	リスニング英語Ⅱ(前) クラスC E106C 【小講義室⑩】ヴァヒド	データサイエンス概論B(前) T205 【小講義室④】田村	プログラミング入門(前) T102 【小講義室④】土本	異文化論(前) L315 【中講義室④】ペトコヴァ	リーディング英語Ⅱ(前) クラスC E108C 【小講義室③】ヴァヒド		データサイエンス実践論(前) T208 【小講義室④】竹本		プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(前)クラスC/E110C 【小講義室③】クセン	フィールドワーク研究(前) L372 【中講義室⑤】田口
	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(前)クラスD/E110D 【小講義室⑤】エドワード			産業・ビジネスモデル論(前) L356 【中講義室⑤】石川					ファシリテーション(前) T222 【小講義室④】瀬古	科学技術史(前) L362 【中講義室②】石村
2限	リスニング英語Ⅱ(後) クラスA E106A 【小講義室⑧】上杉	芸術・文学入門(後) L111 【中講義室①】ペトコヴァ	リスニング英語Ⅱ(後) クラスD E106D 【小講義室①】ニコラス	哲学・倫理学入門(後) L112 【中講義室①】笠木	リーディング英語Ⅱ(後) クラスA E108A 【小講義室①】上杉	ライティング英語Ⅱ(後) クラスD E107D 【小講義室④】ニコラス	リーディング英語Ⅱ(後) クラスD E108D 【小講義室⑧】ニコラス	科学技術倫理入門(後) L116 【中講義室①】石村・粥川	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(後)クラスA/E110A 【小講義室①】アラン	経済学入門(後) L113 【中講義室①】石川
	リスニング英語Ⅱ(後) クラスB E106B 【小講義室⑨】バロウズ	社会経済システム論(後) L355 【中講義室④】保井	リスニング英語Ⅱ(後) クラスE E106E 【小講義室②】モニカ	国際協力・安全保障概論(後) L215 【中講義室③】高須・瀬古	リーディング英語Ⅱ(後) クラスB E108B 【小講義室②】バロウズ		リーディング英語Ⅱ(後) クラスE E108E 【小講義室⑨】谷本	地域協働論(後) L322 【中講義室④】早田	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(後)クラスB/E110B 【小講義室②】キャロライン	メディア論(後) L313 【中講義室③】粥川
	リスニング英語Ⅱ(後) クラスC E106C 【小講義室⑩】ヴァヒド	データサイエンス概論B(後) T205 【小講義室④】田村	プログラミング入門(後) T102 【小講義室④】土本	異文化論(後) L315 【中講義室④】ペトコヴァ	リーディング英語Ⅱ(後) クラスC E108C 【小講義室③】ヴァヒド		データサイエンス実践論(後) T208 【小講義室④】竹本		プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(後)クラスC/E110C 【小講義室③】クセン	フィールドワーク研究(後) L372 【中講義室⑤】田口
				産業・ビジネスモデル論(後) L356 【中講義室⑤】石川					ファシリテーション(後) T222 【小講義室④】瀬古	科学技術史(後) L362 【中講義室②】石村
3限	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(前)クラスE/E110E 【小講義室⑥】吉本	平和論(前) L212 【中講義室②】高須	ライティング英語Ⅱ(前) クラスA E107A 【小講義室⑤】上杉	数学入門(前) L103 【中講義室②】冨田	ライティング英語Ⅱ(前) クラスE E107E 【小講義室⑤】谷本		スピーキング英語Ⅱ(前) クラスA E109A 【小講義室⑤】上杉	法的思考(前) L114 【中講義室①】高須	スピーキング英語Ⅱ(前) クラスD E109D 【小講義室⑤】ニコラス	環境学入門(前) L115 【中講義室①】下ヶ橋
	カレントイングリッシュ(前) E204 【小講義室⑦】エドワード	社会心理学概論(前) L342 【中講義室③】瓜生原・坪田	ライティング英語Ⅱ(前) クラスB E107B 【小講義室⑥】バロウズ	社会起業家論(前) L354 【中講義室③】露木	コミュニカティブイングリッシュ(前) E203 【小講義室⑥】クセン		スピーキング英語Ⅱ(前) クラスB E109B 【小講義室⑥】バロウズ	人工知能概論(前) L218 【中講義室③】原	スピーキング英語Ⅱ(前) クラスE E109E 【小講義室⑥】モニカ	数学的思考法(前) L219 【中講義室②】市村
	IoT利用による問題解決(前) T203 【小講義室①】重丸	地球環境論(前) L395 【小講義室⑤】山田	ライティング英語Ⅱ(前) クラスC E107C 【小講義室⑦】ヴァヒド	生態学(前) L396 【中講義室④】ラサール	AIビジネス活用論(前) T209 【小講義室⑦】市村		スピーキング英語Ⅱ(前) クラスC E109C 【小講義室⑦】ヴァヒド	課題解決演習Ⅱクラス B (前) P301B 【小講義室②】ペトコヴァ	プレゼンテーションイングリッシュ(後) E205 【小講義室⑦】吉本	生物多様性論(前) L394 【中講義室⑤】ラサール
	課題解決演習ⅠBクラスB (前) P202B 【小講義室②】保井	課題解決演習ⅠAクラスC(前) P201C 【小講義室③】石村	データ可視化法(前) T207 【小講義室⑧】市村	日本文化論(前) L314 【中講義室⑤】ペトコヴァ			デザイン思考・システム思考(前) T122 【小講義室①】早田	課題解決演習Ⅱクラス A (前) P301A 【小講義室③】小野	日本語アカデミックライティング(前) T223 【小講義室⑧】石村	社会学概論(前) L216 【中講義室③】粥川
	プレゼンテーションイングリッシュ(前) E205 【小講義室⑦】吉本	課題解決演習ⅠB クラスC(前) P202C 【小講義室④】下ヶ橋						課題解決演習Ⅱクラス C (前) P301C 【小講義室④】ラサール		地域活性論(前) L382 【中講義室④】早田
4限	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(後)クラスD/E110D 【小講義室⑤】エドワード	平和論(後) L212 【中講義室②】高須	ライティング英語Ⅱ(後) クラスA E107A 【小講義室⑤】上杉	数学入門(後) L103 【中講義室②】冨田	ライティング英語Ⅱ(後) クラスE E107E 【小講義室⑤】谷本		スピーキング英語Ⅱ(後) クラスA E109A 【小講義室⑤】上杉	法的思考(後) L114 【中講義室①】高須	スピーキング英語Ⅱ(後) クラスD E109D 【小講義室⑤】ニコラス	環境学入門(後) L115 【中講義室①】下ヶ橋
	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ(後)クラスE/E110E 【小講義室⑥】吉本	社会心理学概論(後) L342 【中講義室③】瓜生原・坪田	ライティング英語Ⅱ(後) クラスB E107B 【小講義室⑥】バロウズ	社会起業家論(後) L354 【中講義室③】露木	カレントイングリッシュ(後) E204 【小講義室⑧】エドワード		スピーキング英語Ⅱ(後) クラスB E109B 【小講義室⑥】バロウズ	人工知能概論(後) L218 【中講義室③】原	スピーキング英語Ⅱ(後) クラスE E109E 【小講義室⑥】モニカ	数学的思考法(後) L219 【中講義室②】市村
	IoT利用による問題解決(後) T203 【小講義室①】重丸	地球環境論(後) L395 【小講義室⑤】山田	ライティング英語Ⅱ(後) クラスC E107C 【小講義室⑦】ヴァヒド	生態学(後) L396 【中講義室④】ラサール	AIビジネス活用論(後) T209 【小講義室⑦】市村		スピーキング英語Ⅱ(後) クラスC E109C 【小講義室⑦】ヴァヒド	課題解決演習Ⅱクラス B (後) P301B 【小講義室②】ペトコヴァ	コミュニカティブイングリッシュ(後) E203 【小講義室⑨】クセン	生物多様性論(後) L394 【中講義室⑤】ラサール
	課題解決演習ⅠBクラスB (後) P202B 【小講義室②】保井	課題解決演習ⅠAクラスC (後) P201C 【小講義室③】石村	データ可視化法(後) T207 【小講義室⑧】市村	日本文化論(後) L314 【中講義室⑤】ペトコヴァ			デザイン思考・システム思考(後) T122 【小講義室①】早田	課題解決演習Ⅱクラス A (後) P301A 【小講義室③】小野	日本語アカデミックライティング(後) T223 【小講義室⑧】石村	社会学概論(後) L216 【中講義室③】粥川
		課題解決演習ⅠBクラスC (後) P202C 【小講義室④】下ヶ橋						課題解決演習Ⅱクラス C (後) P301C 【小講義室④】ラサール		地域活性論(後) L382 【中講義室④】早田
5限										

ID アイデンティティデザイン　BD ビジネスデザイン　ED エコシステムデザイン

英語開講　日本語開講

公共芸術論
L341 【中講義室②】奥山

健康学入門
L102 【中講義室①】辻

2Q前のギャップ期間に開講

卒業プロジェクト

ゼミ形式で開講
全教員が担当
主に5/6限に配置

実践英語　LA科目　基本ツール科目

PBL科目　日本語科目

Y2024, 3Q

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1限	ICT入門 (前) クラスA T101A 【小講義室①】土本	芸術・文学入門(前) L111 【中講義室①】ペトコヴァ	アカデミックリーディング(前) E201 【小講義室①】ニコラス	心理学概論(前) L211 【中講義室③】河瀬	カレントイングリッシュ(後) E204 【小講義室③】ヴァヒド		アカデミックライティング(後) E202 【小講義室④】バロウズ	科学技術倫理入門(前) L116 【中講義室①】石村・粥川	プロジェクトマネジメント(前) T221 【小講義室②】田坂	経済学入門(前) L113 【中講義室①】石川
	データサイエンス概論A(前) T103 【小講義室②】山田・市村	哲学・倫理学(前) L311 【中講義室③】笠木	ロジカルシンキング(前) クラスD T121D 【小講義室②】田坂	多文化共生社会論(前) L312 【中講義室④】瀬古			ICT入門 (前) クラスC T101C 【小講義室⑤】重丸	ロジカルシンキング(前) クラスB T121B 【小講義室①】笠木	ヘルスケアサービス論(前) L332 【中講義室③】瓜生原	公共経営論(前) L321 【中講義室④】保井
		経営戦略・組織論(前) L351 【中講義室④】瓜生原		自然災害論(前) L391 【中講義室⑤】山田			データ分析と統計モデリング(前) T206 【小講義室⑥】鎌田	環境経済学(前) L381 【中講義室⑤】石川		都市環境論(前)L392) 【中講義室⑤】)下ヶ橋
		開発経済学(前) L383 【中講義室⑤】李		持続可能な世界と私たち(前) L401【中講義室①②】有信・保井						
2限	カレントイングリッシュ(前) E204 【小講義室③】ヴァヒド	芸術・文学入門(後) L111 【中講義室①】ペトコヴァ	ロジカルシンキング(後) クラスD T121D 【小講義室②】田坂	心理学概論(後) L211 【中講義室③】河瀬	コミュニカティブイングリッシュ(前) E203 【小講義室①】上杉		ICT入門 (後) クラスC T101C 【小講義室⑤】重丸	科学技術倫理入門(後) L116 【中講義室①】石村・粥川	プロジェクトマネジメント(後) T221 【小講義室②】田坂	経済学入門(後) L113 【中講義室①】石川
	ICT入門 (後) クラスA T101A 【小講義室①】土本	哲学・倫理学(後) L311 【中講義室③】笠木		多文化共生社会論(後) L312 【中講義室④】瀬古			データ分析と統計モデリング(後) T206 【小講義室⑥】鎌田	ロジカルシンキング(後) クラスB T121B 【小講義室①】笠木	ヘルスケアサービス論(後) L332 【中講義室③】瓜生原	公共経営論(後) L321 【中講義室④】保井
	データサイエンス概論A(後) T103 【小講義室②】山田・市村	経営戦略・組織論(後) L351 【中講義室④】瓜生原		自然災害論(後) L391 【中講義室⑤】山田				環境経済学(後) L381 【中講義室⑤】石川	プレゼンテーションイングリッシュ (後)E205 【小講義室③】ヴァヒド	都市環境論(後) L392 【中講義室⑤】)下ヶ橋
		開発経済学(後) L383 【中講義室⑤】李		持続可能な世界と私たち(後) L401【中講義室①②】有信・保井						
3限	日本語Ⅰ(前) J101 【小講義室④】吉本	宗教と歴史(前) L213 【中講義室②】鄭	アカデミックライティング(前) E202 【小講義室③】バロウズ	哲学・倫理学入門(前) L112 【中講義室①】笠木	日本語Ⅱ(前) J102 【小講義室②】吉本		アカデミックリーディング(後) E201 【小講義室④】ニコラス	法的思考(前) L114 【中講義室①】高須	ICT入門 (前) クラスD T101D 【小講義室④】重丸	環境学入門(前) L115【中講義室①】下ヶ橋
	ロジカルシンキング(前) クラスC T121C 【小講義室⑤】田坂	経営学概論(前) L214 【中講義室④】瓜生原	ICT入門 (前) クラスB T101B 【小講義室④】土本	ファイナンス論(前) L353 【中講義室③】小野			日本語Ⅲ(前) J103 【小講義室⑦】川崎	マーケティング論(前) L352 【中講義室③】カタギ	日本語アカデミックライティング (前)T223 【小講義室⑤】田口	認知科学概論(前) L331 【中講義室③】河瀬
	ウェブプログラミングとアプリ開発 (前)T201 【小講義室⑥】宇野	情報発信技法(前) T202 【小講義室①】土本		環境工学(前) L393 【中講義室⑤】下ヶ橋			ロジカルシンキング(前) クラスA T121A 【小講義室⑧】笠木	文化人類学概論(前) L371 【中講義室④】田口		バイオテクノロジー論(前) L361 【中講義室④】ラサール
	課題解決演習ⅠAクラスD(前) P201D 【小講義室⑦】上杉	課題解決演習ⅠBクラスD (前) P202D 【小講義室⑨】ニコラス					課題解決演習ⅡクラスD (前) P301D 【小講義室①】山田	課題解決演習ⅡクラスF (前) P301F 【小講義室③】早田		
	課題解決演習ⅠAクラスE(前) P201E 【小講義室⑧】バロウズ						課題解決演習ⅡクラスE (前) P301E 【小講義室②】土本	生命倫理学概論(前) L217 【中講義室②】粥川		
4限	日本語Ⅰ(後) J101 【小講義室④】吉本	宗教と歴史(後) L213 【中講義室②】鄭	ICT入門 (後) クラスB T101B 【小講義室④】土本	哲学・倫理学入門(後) L112 【中講義室①】笠木	日本語Ⅱ(後) J102 【小講義室②】吉本		日本語Ⅲ(後) J103 【小講義室⑦】川崎	法的思考(後) L114 【中講義室①】高須	コミュニカティブイングリッシュ(後) E203 【小講義室⑥】上杉	環境学入門(後) L115 【中講義室①】下ヶ橋
	プレゼンテーションイングリッシュ (前)E205 【小講義室⑩】ヴァヒド	経営学概論(後) L214 【中講義室④】瓜生原		ファイナンス論(後) L353 【中講義室③】小野			ロジカルシンキング(後) クラスA T121A 【小講義室⑧】笠木	マーケティング論(後) L352 【中講義室③】カタギ	ICT入門 (後) クラスD T101D 【小講義室④】重丸	認知科学概論(後) L331 【中講義室③】河瀬
	ロジカルシンキング(後) クラスC T121C 【小講義室⑤】田坂	情報発信技法(後) T202 【小講義室①】土本		環境工学(後) L393 【中講義室⑤】下ヶ橋			課題解決演習Ⅱクラス D(後) P301D 【小講義室①】山田	文化人類学概論(後) L371 【中講義室④】田口	日本語アカデミックライティング (後)T223 【小講義室⑤】田口	バイオテクノロジー論(後) L361 【中講義室④】ラサール
	ウェブプログラミングとアプリ開発 (後)T201 【小講義室⑥】宇野	課題解決演習ⅠAクラスE (後) P201E 【小講義室⑧】バロウズ					課題解決演習ⅡクラスE (後) P301E 【小講義室②】土本	生命倫理学概論(後) L217 【中講義室②】粥川		
	課題解決演習ⅠAクラスD(後) P201D 【小講義室⑦】上杉	課題解決演習ⅠBクラスD (後) P202D 【小講義室⑨】ニコラス					課題解決演習ⅡクラスF (後) P301F 【小講義室③】早田			
5限										

ID アイデンティティデザイン　BD ビジネスデザイン　ED エコシステムデザイン
英語開講　日本語開講

ソーシャルシステムデザイン入門 L101 【中講義室①②】保井
健康学入門 L102 【中講義室③】辻
課題解決入門P101 【中講義室①②】小野・河瀬・ラサール・山田
科学哲学概論 L316 【中講義室④】戸田山
3Q前のギャップ期間に開講

卒業プロジェクト
ゼミ形式で開講
全教員が担当
主に5/6限に配置

実践英語科目　LA科目　基本ツール科目
PBL科目　日本語科目

Y2024, 4Q

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	プログラミング入門（前）クラスA T102A　【小講義室①】土本 データサイエンス概論B(前) T205　【小講義室②】田村 芸術・文学入門(前) L111　【中講義室①】ペトコヴァ 平和論(前) L212　【中講義室②】高須 社会経済システム論(前) L355　【中講義室④】保井	アカデミックリーディング(前) E201　【小講義室①】ニコラス デザイン思考・システム思考(前) クラスDT122D【小講義室②】田坂 デザイン思考・システム思考(前) クラスAT122A【小講義室⑧】早田 哲学・倫理学入門(前) L112　【中講義室①】笠木 国際協力・安全保障概論(前) L215　【中講義室③】高須・瀬古 異文化論(前) L315　【中講義室④】ペトコヴァ 産業・ビジネスモデル論(前) L356　【中講義室⑤】石川	日本語Ⅴ(前) J105　【小講義室④】川崎 カレントイングリッシュ(後) E204　【小講義室③】ヴァヒド	アカデミックライティング(後) E202　【小講義室④】バロウズ プログラミング入門（前）クラスC T102C　【小講義室⑤】宇野 データサイエンス実践論(前) T208　【小講義室⑥】竹本 科学技術倫理入門(前) L116　【中講義室①】石村・粥川 地域協働論(前) L322　【中講義室④】早田	日本語Ⅵ(前) J106　【小講義室①】川崎 デザイン思考・システム思考(前) クラスBT122B【小講義室②】早田 ファシリテーション(前) T222　【小講義室③】田坂 経済学入門(前) L113　【中講義室①】石川 社会学概論(前) L216　【中講義室③】粥川 フィールドワーク研究(前) L372　【中講義室⑤】田口 科学技術史(前) L362　【中講義室②】石村
2限	カレントイングリッシュ(前) E204　【小講義室③】ヴァヒド プログラミング入門（後）クラスA T102A　【小講義室①】土本 データサイエンス概論B(後) T205　【小講義室②】田村 芸術・文学入門(後) L111　【中講義室①】ペトコヴァ 平和論(後) L212　【中講義室②】高須 社会経済システム論(後) L355　【中講義室④】保井	デザイン思考・システム思考(後) クラスDT122D【小講義室②】田坂 デザイン思考・システム思考(後) クラスAT122A【小講義室⑧】早田 哲学・倫理学入門(後) L112　【中講義室①】笠木 国際協力・安全保障概論(後) L215　【中講義室③】高須・瀬古 異文化論(後) L315　【中講義室④】ペトコヴァ 産業・ビジネスモデル論(後) L356　【中講義室⑤】石川	コミュニカティブイングリッシュ(前) E203　【小講義室①】上杉 日本語Ⅴ(後) J105　【小講義室④】川崎	プログラミング入門（後）クラスC T102C　【小講義室⑤】宇野 データサイエンス実践論(後) T208　【小講義室⑥】竹本 科学技術倫理入門(後) L116　【中講義室①】石村・粥川 地域協働論(後) L322　【中講義室④】早田	日本語Ⅵ(後) J106　【小講義室①】川崎 プレゼンテーションイングリッシュ(後) E205　【小講義室④】ニコラス デザイン思考・システム思考(後) クラスBT122B【小講義室②】早田 ファシリテーション(後) T222　【小講義室③】田坂 経済学入門(後) L113　【中講義室①】石川 社会学概論(後) L216　【中講義室③】粥川 フィールドワーク研究(後) L372　【中講義室⑤】田口 科学技術史(後) L362　【中講義室②】石村
3限	日本語Ⅳ(前) J104　【小講義室④】吉本 デザイン思考・システム思考(前) クラスCT122C【小講義室⑤】田坂 IoT利用による問題解決(前) T203　【小講義室⑥】重丸 課題解決演習ⅠA(前)クラスF P201F　【小講義室⑦】ヴァヒド 社会心理学概論(前) L342　【中講義室④】瓜生原・坪田 地球環境論(前) L395　【中講義室⑤】山田 課題解決演習ⅠBクラスF（前） P202F　【小講義室⑨】高須 課題解決演習ⅠBクラスE（前） P202E　【小講義室⑧】小野	アカデミックライティング(前) E202　【小講義室③】バロウズ プログラミング入門（前）クラスB T102B　【小講義室④】土本 データ可視化法(前) T207　【小講義室⑤】鎌田 日本文化論(前) L314【中講義室①】ペトコヴァ 数学入門(前) L103　【中講義室②】冨田 社会起業家論(前) L354　【中講義室③】露木 生態学(前) L396　【中講義室④】ラサール メディア論(前) L313　【中講義室⑤】粥川	AIビジネス活用論(前) T209　【小講義室②】市村	アカデミックリーディング(後) E201　【小講義室⑦】ニコラス 課題解決演習Ⅱクラスｄ（前） P301D　【小講義室①】山田 課題解決演習ⅡクラスE（前） P301E　【小講義室②】土本 課題解決演習ⅡクラスF（前） P301F　【小講義室③】早田 法的思考(前) L114　【中講義室①】高須 人工知能概論(前) L218　【中講義室③】原	プログラミング入門（前）クラスD T102D　【小講義室⑤】宇野 日本語アカデミックライティング（前） T223　【小講義室⑥】田口 地域活性論(前) L382　【中講義室⑤】早田 環境学入門(前) L115　【中講義室①】下ヶ橋 数学的思考法(前) L219　【中講義室③】市村 生物多様性論(前) L394　【中講義室④】ラサール
4限	日本語Ⅳ(後) J104　【小講義室④】吉本 プレゼンテーションイングリッシュ(前)E205　【小講義室⑩】ニコラス デザイン思考・システム思考(後) クラスCT122C【小講義室⑤】田坂 IoT利用による問題解決(後) T203　【小講義室⑥】重丸 課題解決演習ⅠA（後）クラスF P201F　【小講義室⑦】ヴァヒド 社会心理学概論(後) L342　【中講義室④】瓜生原・坪田 地球環境論(後) L395　【中講義室⑤】山田 課題解決演習ⅠBクラスF（後） P202F　【小講義室⑨】高須 課題解決演習ⅠBクラスE(後) P202E　【小講義室⑧】小野	プログラミング入門（後）クラスB T102B　【小講義室④】土本 データ可視化法(後) T207　【小講義室⑤】鎌田 日本文化論(後) L314【中講義室①】ペトコヴァ 数学入門(後) L103　【中講義室②】冨田 社会起業家論(後) L354　【中講義室③】露木 生態学(後) L396　【中講義室④】ラサール メディア論(後) L313　【中講義室⑤】粥川	AIビジネス活用論(後) T209　【小講義室②】市村	課題解決演習ⅡクラスD（後） P301D　【小講義室①】山田 課題解決演習ⅡクラスE（後） P301E　【小講義室②】土本 課題解決演習ⅡクラスF（後） P301F　【小講義室③】早田 法的思考(後) L114　【中講義室①】高須 人工知能概論(後) L218　【中講義室③】原	コミュニカティブイングリッシュ(後) E203　【小講義室⑦】上杉 プログラミング入門（後）クラスD T102D　【小講義室⑤】宇野 日本語アカデミックライティング（後） T223　【小講義室⑥】田口 地域活性論(後) L382　【中講義室⑤】早田 環境学入門(後) L115　【中講義室①】下ヶ橋 数学的思考法(後) L219　【中講義室③】市村 生物多様性論(後) L394　【中講義室④】ラサール
5限					

ID アイデンティティデザイン　BD ビジネスデザイン　ED エコシステムデザイン
英語開講　日本語開講

公共芸術論
L341　【中講義室①】奥山
4Q前のギャップ期間に開講

卒業プロジェクト
ゼミ形式で開講
全教員が担当
主に5/6限に配置

実践英語　LA科目　基本ツール科目
PBL科目　日本語科目

科目開講計画

資料 26-2

2021 年度 開講科目

		1Q	2Q	3Q	4Q
課題解決演習科目		P101 課題解決入門(日)[1] ※		P101 課題解決入門(英)[2] ※	
リベラルアーツ科目	導入 入門選択 実践科目	L101 ソーシャルシステムデザイン入門(日)[1] ※		L101 ソーシャルシステムデザイン入門(英)[2]※	L103 数学入門 (英)
	人	L111 芸術・文学入門(英)[3] L112 哲学・倫理学入門(英)[3]	L112 哲学・倫理学入門(英)[3]	L111 芸術・文学入門(英) L112 哲学・倫理学入門(日) L211 心理学概論(英)[3] L212 宗教と歴史(英)[3]	L111 芸術・文学入門(日) L112 哲学・倫理学入門(英) L213 平和論(英)[3]
	社会	L113 経済学入門(英)[3] L114 法的思考(英)[3]	L114 法的思考(英)[3]	L113 経済学入門(英) L114 法的思考(日) L214 経営学概論(英)[3]	L113 経済学入門(日) L114 法的思考(英) L215 国際協力・安全保障概論(英)[3] L216 社会学概論(英)[3]
	自然	L115 環境学入門(英)[3] L116 科学技術倫理入門(英)[3]	L116 科学技術倫理入門(英)[3]	L115 環境学入門(英) L116 科学技術倫理入門(日) L217 生命倫理学概論(英)[3]	L115 環境学入門(日) L116 科学技術倫理入門(英) L218 人工知能概論(英)[3] L219 数学的思考法(英)[3]
実践英語		E101 リスニング英語Ⅰ ×5 クラス E102 ライティング英語Ⅰ ×5 クラス E103 リーディング英語Ⅰ ×5 クラス E104 スピーキング英語Ⅰ ×5 クラス E105 プレゼンテーション英語基礎Ⅰ ×5 クラス	E106 リスニング英語Ⅱ ×5 クラス E107 ライティング英語Ⅱ ×5 クラス E108 リーディング英語Ⅱ ×5 クラス E109 スピーキング英語Ⅱ ×5 クラス E110 プレゼンテーション英語基礎Ⅱ ×5 クラス	E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英) E204 カレントイングリッシュ(英)	E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英)
基本ツール科目	ICT・DS	T101 ICT 入門(英)[3]	T102 プログラミング入門(英)[3]	T101 ICT 入門 ×3(英) T101 ICT 入門(日) T103 データサイエンス概論 A(英)[3]	T102 プログラミング入門×3(英) T102 プログラミング入門(日) T205 データサイエンス概論 B(英)[3]
	思考	T121 ロジカルシンキング(英)[3]	T122 デザイン思考/システム思考(英)[3]	T121 ロジカルシンキング×3(英) T121 ロジカルシンキング(日)	T122 デザイン思考/システム思考×3(英) T122 デザイン思考/システム思考(日)
体験・実践プログラム					
日本語				J101 日本語Ⅰ[2] J102 日本語Ⅱ[2] J103 日本語Ⅲ[2]	J104 日本語Ⅳ[2] J105 日本語Ⅴ[2] J106 日本語Ⅵ[2]

※クオータ直前のギャップ期間に開講

橙：2021 年設置科目
緑：2022 年設置科目
紫：2023 年設置科目
茶：2024 年設置科目

[1] 4 月に入学する日本語ができる学生に向けての授業
[2] 10 月に入学する英語しかできない学生に向けての授業
[3] IEP を受講する必要のない帰国子女相当の学生に向けての授業

2022 開講科目

		1Q	2Q	3Q	4Q
課題解決演習科目		P101 課題解決入門(日)[1] ※ P201 課題解決演習ＩＡ ×2(日) (英) P202 課題解決演習ＩＢ ×1 (日)	P201 課題解決演習ＩＡ ×1(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×2 (日)	P101 課題解決入門(英)[2] ※ P201 課題解決演習ＩＡ ×2(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×1 (日)	P201 課題解決演習ＩＡ ×1(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×2 (日) (英)
リベラルアーツ科目	導入 入門選択 実践科目	L101 ソーシャルシステムデザイン入門(日)[1] ※	L102 健康学入門(日) ※ L103 数学入門(日)	L101 ソーシャルシステムデザイン入門(英)[2] ※ L102 健康学入門(英) ※	L103 数学入門(英)
	人	L111 芸術・文学入門(英)[3] L112 哲学・倫理学入門(日) L211 心理学概論(日)[3] L212 宗教と歴史(日)[3] L311 哲学・倫理学(英) L312 多文化共生社会論(日) L316 科学哲学概論(英) ※ L371 文化人類学概論(英)	L111 芸術・文学入門(日) L112 哲学・倫理学入門(英)[3] L213 平和論(日) L313 メディア論(英) L314 日本文化論(日) L315 異文化論(英) L341 公共芸術論(日) ※ L342 社会心理学概論(英) L372 フィールドワーク研究(日)	L111 芸術・文学入門(英) L112 哲学・倫理学入門(日) L211 心理学概論(英)[3] L212 宗教と歴史(英)[3] L311 哲学・倫理学(日) L312 多文化共生社会論(英) L316 科学哲学概論(日) ※ L371 文化人類学概論(日)	L111 芸術・文学入門(日) L112 哲学・倫理学入門(英) L213 平和論(英)[3] L313 メディア論(日) L314 日本文化論(英) L315 異文化論(日) L341 公共芸術論(英) ※ L342 社会心理学概論(日) L372 フィールドワーク研究(英)
	社会	L113 経済学入門(英)[3] L114 法的思考(日) L214 経営学概論(日) L321 公共経営論(日) L351 経営戦略・組織論(英) L352 マーケティング論(日) L353 ファイナンス論(英) L381 環境経済学(日) L383 開発経済学(日)	L113 経済学入門(日) L114 法的思考(英)[3] L215 国際協力・安全保障概論(日) L216 社会学概論(日) L322 地域協働論(英) L354 社会起業家論(日) L355 社会経済システム論(英) L356 産業・ビジネスモデル論(日) L382 地域活性論(英)	L113 経済学入門(英) L114 法的思考(日) L214 経営学概論(英)[3] L321 公共経営論(英) L351 経営戦略・組織論(日) L352 マーケティング論(英) L353 ファイナンス論(日) L381 環境経済学(英) L383 開発経済学(英)	L113 経済学入門(日) L114 法的思考(英) L215 国際協力・安全保障概論(英)[3] L216 社会学概論(英)[3] L322 地域協働論(日) L354 社会起業家論(英) L355 社会経済システム論(日) L356 産業・ビジネスモデル論(英) L382 地域活性論(日)
	自然	L115 環境学入門(英)[3] L116 科学技術倫理入門(日) L217 生命倫理学概論(日) L331 認知科学概論(日) L332 ヘルスケアサービス論(英) L361 バイオテクノロジー論(英) L391 自然災害論(日) L392 都市環境論(英) L393 環境工学(日)	L115 環境学入門(日) L116 科学技術倫理入門(英)[3] L218 人工知能概論(日) L219 数学的思考法(日) L362 科学技術史(日) L394 生物多様性論(英) L395 地球環境論(日) L396 生態学(英)	L115 環境学入門(英) L116 科学技術倫理入門(日) L217 生命倫理学概論(英)[3] L331 認知科学概論(英) L332 ヘルスケアサービス論(日) L361 バイオテクノロジー論(日) L391 自然災害論(英) L392 都市環境論(日) L393 環境工学(英)	L115 環境学入門(日) L116 科学技術倫理入門(英) L218 人工知能概論(英)[3] L219 数学的思考法(英)[3] L362 科学技術史(英) L394 生物多様性論(日) L395 地球環境論(英) L396 生態学(日)
実践英語		E101 リスニング英語Ⅰ ×5クラス(英) E102 ライティング英語Ⅰ ×5クラス(英) E103 リーディング英語Ⅰ ×5クラス(英) E104 スピーキング英語Ⅰ ×5クラス(英) E105 プレゼンテーション英語基礎Ⅰ ×5クラス(英) E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英)	E106 リスニング英語Ⅱ ×5クラス(英) E107 ライティング英語Ⅱ ×5クラス(英) E108 リーディング英語Ⅱ ×5クラス(英) E109 スピーキング英語Ⅱ ×5クラス(英) E110 プレゼンテーション英語基礎Ⅱ ×5クラス(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)	E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)	E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)
基本ツール科目	ICT・DS	T101 ICT 入門(英)[3] T103 データサイエンス概論 A×3(英) T103 データサイエンス概論 A(日) T201 ウェブプログラミングとアプリ開発(日) T202 情報発信技法(英) T206 データ分析と統計モデリング(英)	T102 プログラミング入門(英)[3] T203 IoT 利用による問題解決(英) T205 データサイエンス概論 B(日) T207 データ可視化法(英) T208 データサイエンス実践論(日) T209 AI ビジネス活用論(英)	T101 ICT 入門 ×3(英) T101 ICT 入門(日) T103 データサイエンス概論 A(英)[3] T201 ウェブプログラミングとアプリ開発(英) T202 情報発信技法(日) T206 データ分析と統計モデリング(日)	T102 プログラミング入門×3(英) T102 プログラミング入門(日) T203 IoT 利用による問題解決(日) T205 データサイエンス概論 B(英)[3] T207 データ可視化法(日) T208 データサイエンス実践論(英) T209 AI ビジネス活用論(日)
	思考	T121 ロジカルシンキング(英)[3] T221 プロジェクトマネジメント(日) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T122 デザイン思考/システム思考(英)[3] T222 ファシリテーション(英) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T121 ロジカルシンキング×3(英) T121 ロジカルシンキング(日) T221 プロジェクトマネジメント(英) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T122 デザイン思考/システム思考×3(英) T122 デザイン思考/システム思考(日) T222 ファシリテーション(日) T223 日本語アカデミックライティング(日)
体験・実践プログラム					
日本語				J101 日本語Ⅰ[2] J102 日本語Ⅱ[2] J103 日本語Ⅲ[2]	J104 日本語Ⅳ[2] J105 日本語Ⅴ[2] J106 日本語Ⅵ[2]

※クオータ直前のギャップ期間に開講

橙：2021 年設置科目
緑：2022 年設置科目
紫：2023 年設置科目
茶：2024 年設置科目

[1] 4 月に入学する日本語ができる学生に向けての授業
[2] 10 月に入学する英語しかできない学生に向けての授業
[3] IEP を受講する必要のない帰国子女相当の学生に向けての授業

2023 開講科目

		1Q	2Q	3Q	4Q
課題解決演習科目		P101 課題解決入門(日)[1] ※ 201 課題解決演習ＩＡ ×2(日) (英) P202 課題解決演習ＩＢ ×1 (日) P301 課題解決演習Ⅱ ×3 (日)	P201 課題解決演習ＩＡ ×1(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×2 (日) P301 課題解決演習Ⅱ ×3 (日) 1Q からの続き	P101 課題解決入門(英)[2] ※ P201 課題解決演習ＩＡ ×2(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×1 (日) P301 課題解決演習Ⅱ ×3 (日×2) (英)	P201 課題解決演習ＩＡ ×1(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×2 (日) (英) P301 課題解決演習Ⅱ ×3 (日×2) (英)3Q からの続き
リベラルアーツ科目	導入 入門選択 実践科目	L101 ソーシャルシステムデザイン入門(日)[1] ※	L102 健康学入門(日) ※ L103 数学入門(日)	L101 ソーシャルシステムデザイン入門(英)[2] ※ L102 健康学入門(英) ※	L103 数学入門(英)
	人	L111 芸術・文学入門(英)[3] L112 哲学・倫理学入門(日) L211 心理学概論(日)[3] L212 宗教と歴史(日)[3] L311 哲学・倫理学(英) L312 多文化共生社会論(日) L316 科学哲学概論(英) ※ L371 文化人類学概論(英)	L111 芸術・文学入門(日) L112 哲学・倫理学入門(英)[3] L213 平和論(日) L313 メディア論(英) L314 日本文化論(日) L315 異文化論(英) L341 公共芸術論(日) ※ L342 社会心理学概論(英) L372 フィールドワーク研究(日)	L111 芸術・文学入門(英) L112 哲学・倫理学入門(日) L211 心理学概論(英)[3] L212 宗教と歴史(英)[3] L311 哲学・倫理学(日) L312 多文化共生社会論(英) L316 科学哲学概論(日) ※ L371 文化人類学概論(日)	L111 芸術・文学入門(日) L112 哲学・倫理学入門(英) L213 平和論(英)[3] L313 メディア論(日) L314 日本文化論(英) L315 異文化論(日) L341 公共芸術論(英) ※ L342 社会心理学概論(日) L372 フィールドワーク研究(英)
	社会	L113 経済学入門(英)[3] L114 法的思考(日) L214 経営学概論(日) L321 公共経営論(日) L351 経営戦略・組織論(英) L352 マーケティング論(日) L353 ファイナンス論(英) L381 環境経済学(日) L383 開発経済学(日)	L113 経済学入門(日) L114 法的思考(英)[3] L215 国際協力・安全保障概論(日) L216 社会学概論(日) L322 地域協働論(英) L354 社会起業家論(日) L355 社会経済システム論(英) L356 産業・ビジネスモデル論(日) L382 地域活性論(英)	L113 経済学入門(英) L114 法的思考(日) L214 経営学概論(英)[3] L321 公共経営論(英) L351 経営戦略・組織論(日) L352 マーケティング論(英) L353 ファイナンス論(日) L381 環境経済学(英) L383 開発経済学(英)	L113 経済学入門(日) L114 法的思考(英) L215 国際協力・安全保障概論(英)[3] L216 社会学概論(英)[3] L322 地域協働論(日) L354 社会起業家論(英) L355 社会経済システム論(日) L356 産業・ビジネスモデル論(英) L382 地域活性論(日)
	自然	L115 環境学入門(英)[3] L116 科学技術倫理入門(日) L217 生命倫理学概論(日) L331 認知科学概論(日) L332 ヘルスケアサービス論(英) L361 バイオテクノロジー論(英) L391 自然災害論(日) L392 都市環境論(英) L393 環境工学(日)	L115 環境学入門(日) L116 科学技術倫理入門(英)[3] L218 人工知能概論(日) L219 数学的思考法(日) L362 科学技術史(日) L394 生物多様性論(英) L395 地球環境論(日) L396 生態学(英)	L115 環境学入門(英) L116 科学技術倫理入門(日) L217 生命倫理学概論(英)[3] L331 認知科学概論(英) L332 ヘルスケアサービス論(日) L361 バイオテクノロジー論(日) L391 自然災害論(英) L392 都市環境論(日) L393 環境工学(英)	L115 環境学入門(日) L116 科学技術倫理入門(英) L218 人工知能概論(英)[3] L219 数学的思考法(英)[3] L362 科学技術史(英) L394 生物多様性論(日) L395 地球環境論(英) L396 生態学(日)
実践英語		E101 リスニング英語Ⅰ ×5 クラス(英) E102 ライティング英語Ⅰ ×5 クラス(英) E103 リーディング英語Ⅰ ×5 クラス(英) E104 スピーキング英語Ⅰ ×5 クラス(英) E105 プレゼンテーション英語基礎Ⅰ ×5 クラス(英) E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英)	E106 リスニング英語Ⅱ ×5 クラス(英) E107 ライティング英語Ⅱ ×5 クラス(英) E108 リーディング英語Ⅱ ×5 クラス(英) E109 スピーキング英語Ⅱ ×5 クラス(英) E110 プレゼンテーション英語基礎Ⅱ ×5 クラス(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)	E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)	E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)
基本ツール科目	ICT・DS	T101 ICT 入門(英)[3] T103 データサイエンス概論 A×3(英) T103 データサイエンス概論 A(日) T201 ウェブプログラミングとアプリ開発(日) T202 情報発信技法(英) T206 データ分析と統計モデリング(英)	T102 プログラミング入門(英)[3] T203 IoT 利用による問題解決(英) T205 データサイエンス概論 B(日) T207 データ可視化法(英) T208 データサイエンス実践論(日) T209 AI ビジネス活用論(英)	T101 ICT 入門 ×3(英) T101 ICT 入門(日) T103 データサイエンス概論 A(英)[3] T201 ウェブプログラミングとアプリ開発(英) T202 情報発信技法(日) T206 データ分析と統計モデリング(日)	T102 プログラミング入門×3(英) T102 プログラミング入門(日) T203 IoT 利用による問題解決(日) T205 データサイエンス概論 B(英)[3] T207 データ可視化法(日) T208 データサイエンス実践論(英) T209 AI ビジネス活用論(日)
	思考	T121 ロジカルシンキング(英)[3] T221 プロジェクトマネジメント(日) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T122 デザイン思考/システム思考(英)[3] T222 ファシリテーション(英) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T121 ロジカルシンキング×3(英) T121 ロジカルシンキング(日) T221 プロジェクトマネジメント(英) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T122 デザイン思考/システム思考×3(英) T122 デザイン思考/システム思考(日) T222 ファシリテーション(日) T223 日本語アカデミックライティング(日)
体験・実践プログラム					
日本語				J101 日本語Ⅰ[2] J102 日本語Ⅱ[2] J103 日本語Ⅲ[2]	J104 日本語Ⅳ[2] J105 日本語Ⅴ[2] J106 日本語Ⅵ[2]

※クオータ直前のギャップ期間に開講

橙：2021 年設置科目
緑：2022 年設置科目
紫：2023 年設置科目
茶：2024 年設置科目

[1] 4 月に入学する日本語ができる学生に向けての授業
[2] 10 月に入学する英語しかできない学生に向けての授業
[3] IEP を受講する必要のない帰国子女相当の学生に向けての授業

2024 年度開講科目

		1Q	2Q	3Q	4Q
課題解決演習科目		P101 課題解決入門(日)[1] ※ P201 課題解決演習ＩＡ ×2(日) (英) P202 課題解決演習ＩＢ ×1 (日) P301 課題解決演習Ⅱ ×3 (日) P401 卒業プロジェクト(日・英)	P201 課題解決演習ＩＡ ×1(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×2 (日) P301 課題解決演習Ⅱ ×3 (日) 1Q からの続き P401 卒業プロジェクト(日・英) 1Q からの続き	P101 課題解決入門(英)[2] ※ P201 課題解決演習ＩＡ ×2(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×1 (日) P301 課題解決演習Ⅱ×3 (日×2) (英) P401 卒業プロジェクト(日・英) 1Q からの続き	P201 課題解決演習ＩＡ ×1(日) P202 課題解決演習ＩＢ ×2 (日) (英) P301 課題解決演習Ⅱ ×3 (日×2) (英) 3Q からの続き P401 卒業プロジェクト(日・英) 1Q からの続き
リベラルアーツ科目	導入 入門選択 実践科目	L101 ソーシャルシステムデザイン入門(日)[1] ※ L401 持続可能な世界と私たち(日)	L102 健康学入門(日) ※ L103 数学入門(日)	L101 ソーシャルシステムデザイン入門(英)[2] ※ L102 健康学入門(英) ※ L401 持続可能な世界と私たち(英)	L103 数学入門(英)
	人	L111 芸術・文学入門(英)[3] L112 哲学・倫理学入門(日) L211 心理学概論(日)[3] L212 宗教と歴史(日)[3] L311 哲学・倫理学(英) L312 多文化共生社会論(日) L316 科学哲学概論(英) ※ L371 文化人類学概論(英)	L111 芸術・文学入門(日) L112 哲学・倫理学入門(英)[3] L213 平和論(日) L313 メディア論(英) L314 日本文化論(日) L315 異文化論(英) L341 公共芸術論(日) ※ L342 社会心理学概論(英) L372 フィールドワーク研究(日)	L111 芸術・文学入門(英) L112 哲学・倫理学入門(日) L211 心理学概論(英)[3] L212 宗教と歴史(英)[3] L311 哲学・倫理学(日) L312 多文化共生社会論(英) L316 科学哲学概論(日) ※ L371 文化人類学概論(日)	L111 芸術・文学入門(日) L112 哲学・倫理学入門(英) L213 平和論(英)[3] L313 メディア論(日) L314 日本文化論(英) L315 異文化論(日) L341 公共芸術論(英) ※ L342 社会心理学概論(日) L372 フィールドワーク研究(英)
	社会	L113 経済学入門(英)[3] L114 法的思考(日) L214 経営学概論(日) L321 公共経営論(日) L351 経営戦略・組織論(英) L352 マーケティング論(日) L353 ファイナンス論(英) L381 環境経済学(日) L383 開発経済学(日)	L113 経済学入門(日) L114 法的思考(英)[3] L215 国際協力・安全保障概論(日) L216 社会学概論(日) L322 地域協働論(英) L354 社会起業家論(日) L355 社会経済システム論(英) L356 産業・ビジネスモデル論(日) L382 地域活性論(英)	L113 経済学入門(英) L114 法的思考(日) L214 経営学概論(英)[3] L321 公共経営論(英) L351 経営戦略・組織論(日) L352 マーケティング論(英) L353 ファイナンス論(日) L381 環境経済学(英) L383 開発経済学(英)	L113 経済学入門(日) L114 法的思考(英) L215 国際協力・安全保障概論(英)[3] L216 社会学概論(英)[3] L322 地域協働論(日) L354 社会起業家論(英) L355 社会経済システム論(日) L356 産業・ビジネスモデル論(英) L382 地域活性論(日)
	自然	L115 環境学入門(英)[3] L116 科学技術倫理入門(日) L217 生命倫理学概論(日) L331 認知科学概論(日) L332 ヘルスケアサービス論(英) L361 バイオテクノロジー論(英) L391 自然災害論(日) L392 都市環境論(英) L393 環境工学(日)	L115 環境学入門(日) L116 科学技術倫理入門(英)[3] L218 人工知能概論(日) L219 数学的思考法(日) L362 科学技術史(日) L394 生物多様性論(英) L395 地球環境論(日) L396 生態学(英)	L115 環境学入門(英) L116 科学技術倫理入門(日) L217 生命倫理学概論(英)[3] L331 認知科学概論(英) L332 ヘルスケアサービス論(日) L361 バイオテクノロジー論(日) L391 自然災害論(英) L392 都市環境論(日) L393 環境工学(英)	L115 環境学入門(日) L116 科学技術倫理入門(英) L218 人工知能概論(英)[3] L219 数学的思考法(英)[3] L362 科学技術史(英) L394 生物多様性論(日) L395 地球環境論(英) L396 生態学(日)
実践英語		E101 リスニング英語Ⅰ ×5 クラス(英) E102 ライティング英語Ⅰ ×5 クラス(英) E103 リーディング英語Ⅰ ×5 クラス(英) E104 スピーキング英語Ⅰ ×5 クラス(英) E105 プレゼンテーション英語基礎Ⅰ ×5 クラス(英) E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英)	E106 リスニング英語Ⅱ ×5 クラス(英) E107 ライティング英語Ⅱ ×5 クラス(英) E108 リーディング英語Ⅱ ×5 クラス(英) E109 スピーキング英語Ⅱ ×5 クラス(英) E110 プレゼンテーション英語基礎Ⅱ ×5 クラス(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)	E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)	E201 アカデミックリーディング(英) E202 アカデミックライティング(英) E203 コミュニカティブイングリッシュ(英) E204 カレントイングリッシュ(英) E205 プレゼンテーションイングリッシュ(英)
基本ツール科目	ICT・DS	T101 ICT 入門(英)[3] T103 データサイエンス概論 A×3(英) T103 データサイエンス概論 A(日) T201 ウェブプログラミングとアプリ開発(日) T202 情報発信技法(英) T206 データ分析と統計モデリング(英)	T102 プログラミング入門(英)[3] T203 IoT 利用による問題解決(英) T205 データサイエンス概論 B(日) T207 データ可視化法(英) T208 データサイエンス実践論(日) T209 AI ビジネス活用論(英)	T101 ICT 入門 ×3 クラス(英) T101 ICT 入門(日) T103 データサイエンス概論 A(英)[3] T201 ウェブプログラミングとアプリ開発(英) T202 情報発信技法(日) T206 データ分析と統計モデリング(日)	T102 プログラミング入門 ×3 クラス(英) T102 プログラミング入門(日) T203 IoT 利用による問題解決(日) T205 データサイエンス概論 B(英)[3] T207 データ可視化法(日) T208 データサイエンス実践論(英) T209 AI ビジネス活用論(日)
	思考	T121 ロジカルシンキング(英)[3] T221 プロジェクトマネジメント(日) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T122 デザイン思考/システム思考(英)[3] T222 ファシリテーション(英) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T121 ロジカルシンキング ×3(英) T121 ロジカルシンキング(日) T221 プロジェクトマネジメント(英) T223 日本語アカデミックライティング(日)	T122 デザイン思考/システム思考 ×3(英) T122 デザイン思考/システム思考(日) T222 ファシリテーション(日) T223 日本語アカデミックライティング(日)
体験・実践プログラム					
日本語				J101 日本語Ⅰ[2] J102 日本語Ⅱ[2] J103 日本語Ⅲ[2]	J104 日本語Ⅳ[2] J105 日本語Ⅴ[2] J106 日本語Ⅵ[2]

※クオータ直前のギャップ期間に開講
橙：2021 年設置科目
緑：2022 年設置科目
紫：2023 年設置科目
茶：2024 年設置科目

[1] 4 月に入学する日本語ができる学生に向けての授業
[2] 10 月に入学する英語しかできない学生に向けての授業
[3] IEP を受講する必要のない帰国子女相当の学生に向けての授業

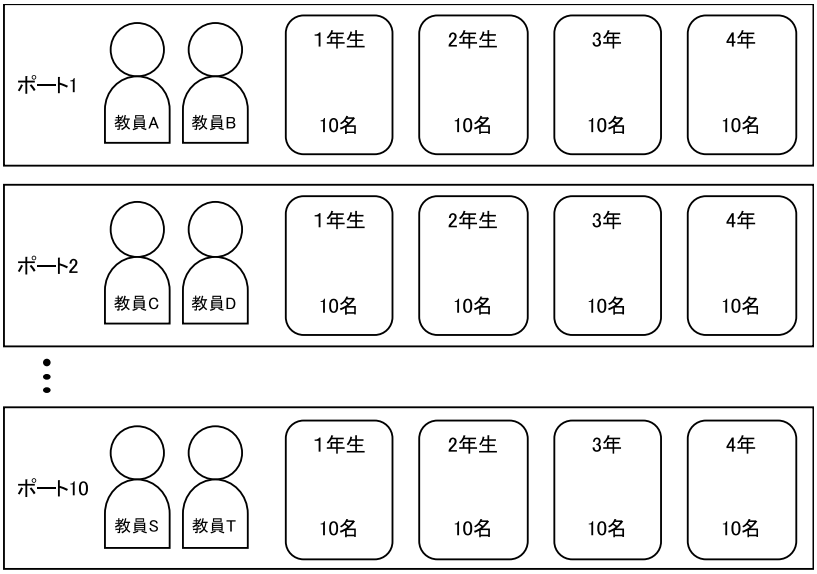
資料 27

ポートについて

本学の学生支援の柱となるのが「ポート」である。ポートは、英語の port を意味しており、日本語では「港」という意味を持つ。これは、学内の学びのみならず学外での学びを行う学生を船に例え、港から学びの航海へと出航して欲しいという意味が込められている。また学外での学びを経て大学に戻ってくる船には母港が必要であり、学生にとっての母港であろうとする場所がポートである。

本学ではポートを 10 港設ける。それぞれのポートにはポートを担当する教員を2名割り当てる。1学年 100 人の定員を 10 のグループに分け、それぞれのポートに割り当てる。ひとつのポートには 1 学年 10 人程度が所属することになる。また、この割り当ては 2 年次以降も原則的に継続することを前提とし、毎年 10 名程度の新入生が各ポートに割り当てられることになり、完成年度においては各ポートには 40 名程度の学生が所属することになる。このポートという用語はこの組織の名称を示すものである。図1に本学におけるポートの構成を図示する。

図 1



また、ポートを支えるための施設を校舎内に設置する。校舎内に専任教員の個人研究室の近くに学生控室を配置し、その物理的な固まりもポートと呼ぶ。

学生は自らが所属するポートの学生控室に日常的に滞在することが期待される。

大学設置初年度には叶わないが、2 年目以降、同じポートに先輩が必ずいるような状況を作るのがポート設置目的のひとつである。先輩と後輩の交流を通じ、学生にはコミュニケーション力を磨く場としてもらいたい。また、先輩には後輩に対して学びや学生生活を送る上での

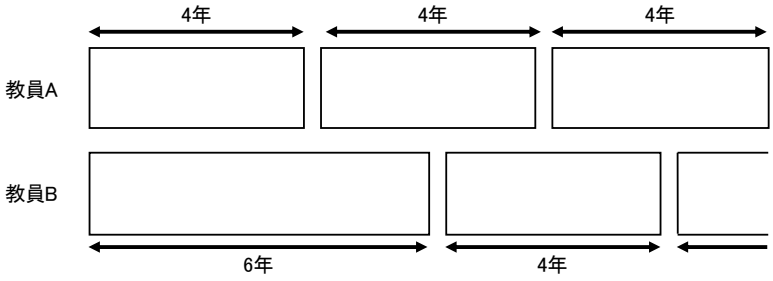
アドバイスをするなどしてリーダーシップを磨いてもらいたい。加えて、後輩は先輩の学んでいる姿、頑張っている姿に日常的に触れ、ロールモデルと位置付けてもらうことを意図している。

また、教員の個人研究室は学生控室の近くにあることから、教員が個人研究室に立ち寄る際に日常的に学生の様子を確認できる状況を作ることもポートの目的のひとつである。従来、教員の個人研究室は教員同士が隣接する形で設置されることが多く、学生が教員とコミュニケーションを取るのは容易ではない。ポートを設置することで日常的に学生と教員がコミュニケーションを取る機会を提供する。可能な限りひとつのポートを分野の異なる 2 人の教員で担当させることで教員同士のコミュニケーションの活性化も図る。

ポートに割り当てられた教員はポートという場を通じて日常的に学生の様子を確認するだけでなく、必要に応じて学習の進捗状況を確認する役割も持つ。履修に対するアドバイスや単位取得状況やコンピテンシーの獲得状況を確認する。

ポートに割り当てられる教員は原則的に 4 年を限度に交代していくものとする。開設直後のみ 1 人の教員は同じポートに 6 年間割り当てられることになるが、以降は 4 年ごとにペアを組む教員を変えつつ学生のサポートにあたる。図 2 にポートに割り当てられる教員がどのように交代していくのかを図示する。

図 2



なお、一般的な大学におけるゼミナール的位置付けとなる「卒業プロジェクト」とポートの関係は独立である。卒業プロジェクトを担当する教員との学びはポートの外側で行われるものである。卒業プロジェクト担当教員との学びを終えて、ポートに戻ってきて、大学における日常生活の中、「卒業プロジェクト」の進捗状況をポート担当教員と話すことで学生の支援を多角的におこなう。

履修モデル（ウィンドウ：アイデンティティデザイン）　体験・実践P×10単位　英語科目×31（62単位）

資料28-1

		1年 1Q	単位	1年 2Q	単位	1年 3Q	単位	1年 4Q	単位	2年 1Q	単位	2年 2Q	単位	2年 3Q	単位	2年 4Q	単位	3年 1Q	単位	3年 2Q	単位	3年 3Q	単位	3年 4Q	単位	4年 1Q	単位	4年 2Q	単位	4年 3Q	単位	4年 4Q	単位	小計	計
課題解決演習科目		※課題解決入門（日）	1							課題解決演習ＩA	2			課題解決演習ＩB	2							課題解決演習Ⅱ（注1）	4									卒業プロジェクト（注2）			12	21	21
リベラルアーツ科目	入門科目							哲学・倫理学入門（日）	2	芸術・文学入門（日）	2																									12	
								経済学入門（英）	2	法的思考（英）	2																										
								環境学入門（英）	2	科学技術倫理入門（英）	2																										
	基盤科目											心理学概論（日）	2	社会学概論（日）	2																					8	
												生命倫理学概論（日）	2	数学的思考法（日）	2																						
	発展科目 I/D															科学哲学概論（日）	2					哲学・倫理学（英）	2			多文化共生社会論（英）	2	地域協働論（日）	2							18	
																公共経営論（英）	2					メディア論（英）	2					日本文化論（英）	2								
																ヘルスケアサービス論（日）	2					認知科学概論（日）	2														
	B/D															マーケティング論（英）	2																			2	
	E/D																					文化人類学概論（英）	2			都市環境論（日）	2									4	
	共通	※ソーシャルシステムデザイン入門（日）	1																											持続可能な世界と私たち（英）	2			3	47
基本ツール	ICT・DS							ICT入門（英）	2	プログラミング入門（英）	2	データサイエンス概論A（日）	2	データサイエンス概論B（日）	2									ウェブプログラミングとアプリ開発（英）	2	データ可視化法（日）	2									14	
																								情報発信技法（日）	2										
	思考							ロジカルシンキング（英）	2	デザイン思考/システム思考（英）	2	日本語アカデミックライティング（日）	2	ファシリテーション（英）	2																					8	22
	実践英語	リスニング英語Ⅰ	2	リスニング英語Ⅱ	2									カレントイングリッシュ	2					アカデミックライティング	2															24	24
		ライティング英語Ⅰ	2	ライティング英語Ⅱ	2																														
		リーディング英語Ⅰ	2	リーディング英語Ⅱ	2																														
		スピーキング英語Ⅰ	2	スピーキング英語Ⅱ	2																														
		プレゼンテーション英語基礎Ⅰ	2	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ	2																														
体験・実践プログラム																※国内インターンシップA	2	国内ボランティア	2					国内インターンシップB	4									10	10
																		海外インターンシップ	2																
CAP内			10		10		10		10		10		10		10		4		10		4		10		8		3		3		5		3	120	
CAP外（ギャップ期間中の履修）			2												2																			4	
合計			12		10		10		10		10		10		12		4		10		4		10		8		3		3		5		3	124	

（注1），（注2）：2Q以上にわたって履修する科目については履修後の単位認定とするが，本学のキャップ制においては，複数Qで単位数を均等配分することとする。

凡例：

網掛→必修

※→クオーター直前のギャップ期間に受講

（日）→日本語開講

（英）→英語開講

【「アイデンティティデザイン」を履修した学生の成長イメージ】

異なる文化・価値観など，多様性（ダイバーシティ）に関する知見などを活かし，学校や社会福祉法人等公共サービスを担う団体や，非営利組織の企画・経営・事業部門等において，多文化共生社会における多様性を尊重する仕組みの構築や，紛争解決や地域の活力創出など，様々な社会課題に取り組み，「誰一人取り残さない社会」の構築に寄与する統合的な解決策を立案できる人材，社員のグローバル化が進む企業の人事部門において，多様性を尊重した人材マネジメントを担える人材，将来的に社会起業家として自らＮＰＯ活動等を展開できる人材。

履修モデル（ウィンドウ:ビジネスデザイン）　体験・実践P×10単位　英語科目×31（62単位）

		1年 1Q	単位	1年 2Q	単位	1年 3Q	単位	1年 4Q	単位	2年 1Q	単位	2年 2Q	単位	2年 3Q	単位	2年 4Q	単位	3年 1Q	単位	3年 2Q	単位	3年 3Q	単位	3年 4Q	単位	4年 1Q	単位	4年 2Q	単位	4年 3Q	単位	4年 4Q	単位	小計	計
課題解決演習科目		※課題解決入門（日）	1							課題解決演習ＩA	2			課題解決演習ＩB	2			課題解決演習Ⅱ（注1）			4					卒業プロジェクト（注2）							12	21	21
リベラルアーツ科目	入門科目					芸術・文学入門（英）	2	哲学・倫理学入門（英）	2																									12		
						経済学入門（英）	2	法的思考（英）	2																											
						環境学入門（英）	2	科学技術倫理入門（英）	2																											
	基盤科目									生命倫理学概論（日）	2	社会学概論（日）	2																					8		
												数学的思考法日）	2	心理学概論（英）	2																					
	発展科目 I/D																	多文化共生社会論（日）	2					地域協働論（日）	2									4	
	B/D											科学技術史（日）	2	バイオテクノロジー論（日）	2			経営戦略・組織論（英）	2	産業・ビジネスモデル論（日）	2			社会経済システム論（日）	2									18	
														ファイナンス論（日）	2			マーケティング論（日）	2	社会心理学概論（英）	2			社会起業家論（英）	2										
	E/D																	文化人類学概論（英）	2					地域活性論（日）	2									4	
	共通	※ソーシャルシステムデザイン入門（日）	1																											持続可能な世界と私たち（英）	2			3	49
基本ツール	ICT・DS					ICT入門（英）	2	プログラミング入門（英）	2	データサイエンス概論A（日）	2	データサイエンス概論B（日）	2							データ可視化法（英）	2													10	
	思考					ロジカルシンキング（英）	2	デザイン思考/システム思考（日）	2	日本語アカデミッククライティング（日）	2			プロジェクトマネジメント（英）	2					コミュニカティブイングリッシュ	2													8	18
実践英語		リスニング英語Ⅰ	2	リスニング英語Ⅱ	2					アカデミックライティング	2	プレゼンテーションイングリッシュ	2																					26	
		ライティング英語Ⅰ	2	ライティング英語Ⅱ	2																														26
		リーディング英語Ⅰ	2	リーディング英語Ⅱ	2																														
		スピーキング英語Ⅰ	2	スピーキング英語Ⅱ	2																														
		プレゼンテーション英語基礎Ⅰ	2	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ	2																														
体験・実践プログラム																		国内ボランティア	2	※国内インターンシップA	2			国内インターンシップB	4								10	10
																		海外ボランティア	2																
CAP内			10		10		10		10		10		10		10		4		10		10		4		8		3		3		5		3	120	
CAP外（ギャップ期間中の履修）			2																2															4	
合計			12		10		10		10		10		10		10		4		12		10		4		8		3		3		5		3	124	

（注1），（注2）:2Q以上にわたって履修する科目については履修後の単位認定とするが，本学のキャップ制においては，複数Qで単位数を均等配分することとする。

凡例:

網掛→必修

※→クオーター直前のギャップ期間に受講

（日）→日本語開講

（英）→英語開講

【「ビジネスデザイン」を履修した学生の成長イメージ】

グローバル化する経済・社会の仕組みや経営手法に関する知見などを活かし，グローバルに展開するものづくり企業やサービス産業の企画・事業部門において，新規事業の創出や海外市場の新規開拓，海外への事業所進出等に取り組み，新たな価値を創造できる人材，また，新たなビジネスモデルを企画し，将来的に自ら起業できる人材。

履修モデル（ウィンドウ：エコシステムデザイン）　体験・実践P×10単位　英語科目×31（62単位）

			1年								2年								3年								4年								小計	計
			1Q	単位	2Q	単位	3Q	単位	4Q	単位	1Q	単位	2Q	単位	3Q	単位	4Q	単位	1Q	単位	2Q	単位	3Q	単位	4Q	単位	1Q	単位	2Q	単位	3Q	単位	4Q	単位		
課題解決演習科目			※課題解決入門（日）	1							課題解決演習ＩA	2			課題解決演習ＩB	2							課題解決演習Ⅱ（注1）			4	卒業プロジェクト（注2）							12	21	21
リベラルアーツ科目	入門科目						哲学・倫理学入門（日）	2	芸術・文学入門（日）	2																									12		
							経済学入門（英）	2	法的思考（英）	2																												
							環境学入門（英）	2	科学技術倫理入門（英）	2																												
	基盤科目										生命倫理学概論（日）	2	社会学概論（日）	2			平和論（英）	2																	10	
													人工知能概論（日）	2			国際協力・安全保障概論（英）	2																			
	発展科目	I/D																																0	
		B/D															社会心理学概論（日）	2					マーケティング論（英）	2										4	
		E/D													文化人類学概論（日）	2	生物多様性論（日）	2					自然災害論（英）	2	地域活性論（日）	2								18	
															環境経済学（英）	2	生態学（日）	2					都市環境論（日）	2	地球環境論（英）	2									
																									フィールドワーク研究（英）	2									
	共通		※ソーシャルシステムデザイン入門（日）	1																											持続可能な世界と私たち（英）	2			3	
基本ツール	ICT・DS						ICT入門（英）	2	プログラミング入門（英）	2	データサイエンス概論A（日）	2	データサイエンス概論B（日）	2									情報発信技法（日）	2											10	47
	思考						ロジカルシンキング（英）	2	デザイン思考/システム思考（英）	2	日本語アカデミックライティング（日）	2			プロジェクトマネジメント（英）	2								ファシリテーション（日）	2										10	20
実践英語			リスニング英語Ⅰ	2	リスニング英語Ⅱ	2					アカデミックライティング	2	カレントイングリッシュ	2	プレゼンテーションイングリッシュ	2																				26	26
			ライティング英語Ⅰ	2	ライティング英語Ⅱ	2																														
			リーディング英語Ⅰ	2	リーディング英語Ⅱ	2																														
			スピーキング英語Ⅰ	2	スピーキング英語Ⅱ	2																														
			プレゼンテーション英語基礎Ⅰ	2	プレゼンテーション英語基礎Ⅱ	2																														
体験・実践プログラム															※国内インターンシップA	2			国内インターンシップB	4	国内ボランティア	2											10	10
																							海外インターンシップ	2											
CAP内				10		10		10		10		10		8		10		10		4		4		10		10		3		3		5		3	120	
CAP外（ギャップ期間中の履修）				2												2																			4	
合計				12		10		10		10		10		8		12		10		4		4		10		10		3		3		5		3	124	

（注1），（注2）：2Q以上にわたって履修する科目については履修後の単位認定とするが，本学のキャップ制においては，複数Qで単位数を均等配分することとする。

凡例：

網掛→必修

※→クオーター直前のギャップ期間に受講

（日）→日本語開講

（英）→英語開講

【「エコシステムデザイン」を履修した学生の成長イメージ】

自然環境保全の必要性や環境とビジネスや科学技術の発展に関する国際社会の様々な価値観に関する知見などを活かし，人々の生活の基盤となるインフラ産業や環境に配慮した事業展開を志向する企業の企画・ＣＳＲ部門等において，地球環境に配慮した持続可能なビジネスモデルを企画立案できる人材。

【留学生（春入学）】履修モデル（ウィンドウ:ビジネスデザイン）　体験・実践P×4単位　英語科目×33（66単位）

		1年 1Q	単位	1年 2Q	単位	1年 3Q	単位	1年 4Q	単位	2年 1Q	単位	2年 2Q	単位	2年 3Q	単位	2年 4Q	単位	3年 1Q	単位	3年 2Q	単位	3年 3Q	単位	3年 4Q	単位	4年 1Q	単位	4年 2Q	単位	4年 3Q	単位	4年 4Q	単位	小計	計
課題解決演習科目		※課題解決入門（日）	1									課題解決演習ⅠA	2			課題解決演習ⅠB	2	課題解決演習Ⅱ（注1）	4							卒業プロジェクト（注2）							12	21	21
リベラルアーツ科目	入門科目	芸術・文学入門（英）	2	哲学・倫理学入門（英）	2																													12	
		経済学入門（英）	2	法的思考（英）	2																														
		環境学入門（英）	2	科学技術倫理入門（英）	2																														
	基盤科目					心理学概論（英）	2	人工知能概論（英）	2	生命倫理学概論（日）	2	国際協力・安全保障概論（日）	2																					14	
						経営学概論（英）	2	社会学概論（英）	2			数学的思考法（日）	2																						
	発展科目 I/D													メディア論（日）	2	ヘルスケアサービス論（日）	2	公共経営論（日）	2	地域協働論（英）	2			異文化論（日）	2								10	
	発展科目 B/D													経営戦略・組織論（日）	2	産業・ビジネスモデル論（英）	2	ファイナンス論（英）	2	社会起業家論（日）	2	バイオテクノロジー論（日）	2									16	
														マーケティング論（英）	2	社会経済システム論（日）	2			社会心理学概論（英）	2													
	発展科目 E/D													文化人類学概論（日）	2							環境経済学（英）	2	地域活性論（日）	2							8	
																										フィールドワーク研究（英）	2								
	共通	※ソーシャルシステムデザイン入門（日）	1																											持続可能な世界と私たち（英）	2			3	63
基本ツール	ICT・DS	ICT入門（英）	2	プログラミング入門（英）	2	データサイエンス概論A（英）	2	データサイエンス概論B（英）	2	データ分析と統計モデリング（英）	2	IoT利用による問題解決（英）	2			AIビジネス活用論（日）	2	ウェブプログラミングとアプリ開発（日）	2																
																		情報発信技法（英）	2															18	
	思考	ロジカルシンキング（英）	2	デザイン思考/システム思考（英）	2					日本語アカデミックライティング（日）	2	ファシリテーション（英）	2																					10	28
										プロジェクトマネジメント（日）	2																								
実践英語						アカデミックリーディング	2	プレゼンテーションイングリッシュ	2																									8	8
						アカデミックライティング	2	コミュカティブイングリッシュ	2																											
体験実践														※国内インターンシップA	2							※海外インターンシップ	2									4	4
キャップ内			10		10		10		10		8		10		8		10		10		10		8		4		6		3		3		5	3	118
キャップ外			2												2										2										6
合計			12		10		10		10		8		10		10		10		10		10		8		6		6		3		3		5	3	124

（注1），（注2）:2Q以上にわたって履修する科目については履修後の単位認定とするが，本学のキャップ制においては，複数Qで単位数を均等配分することとする。

凡例:

網掛→必修

※→クオーター直前のギャップ期間に受講

（日）→日本語開講

（英）→英語開講

【留学生（秋入学）】履修モデル（ウィンドウ：ビジネスデザイン）　体験・実践P×4単位　全科目英語履修

			1年										2年										3年										4年								小計	計
			30	単位	40	単位	10	単位	20	単位	30	単位	40	単位	10	単位	20	単位	30	単位	40	単位	10	単位	20	単位	30	単位	40	単位	10	単位	20	単位								
課題解決演習科目			※課題解決入門(英)	1									課題解決演習ⅠA	2			課題解決演習ⅠB	2	課題解決演習Ⅱ（注1）			4			卒業プロジェクト（注2）				12								9	9
リベラルアーツ科目	入門科目						芸術・文学入門(英)	2	哲学・倫理学入門(英)	2																														12	
							経済学入門(英)	2	法的思考(英)	2																															
							環境学入門(英)	2	科学技術倫理入門(英)	2																															
	基盤科目										経営学概論(英)	2	国際協力・安全保障概論(英)	2																										12	
											心理学概論(英)	2	社会学概論(英)	2																														
											生命倫理学概論(英)	2	人工知能概論(英)	2																													
	発展科目	I/D													メディア論(英)	2				公共経営論(英)	2						地域協働論(英)	2										6	
		B/D													ファイナンス論(英)	2	社会経済システム論(英)	2	マーケティング論(英)	2	産業・ビジネスモデル論(英)	2																	16	
															経営戦略・組織論(英)	2	社会心理学概論(英)	2			社会起業家論(英)	2	バイオテクノロジー論(英)	2																
		E/D													文化人類学概論(英)	2					フィールドワーク研究(英)	2																	6	
																					科学技術史（英）	2																			
	共通		※ソーシャルシステムデザイン入門(英)	1																															持続可能な世界と私たち(英)	2					3	55
基本ツール	ICT・DS		ICT入門	2	プログラミング入門(英)	2					データサイエンス概論A(英)	2	データサイエンス概論B(英)	2	データ分析と統計モデリング(英)	2	IoT利用による問題解決(英)	2	ウェブプログラミングとアプリ開発（英）	2																AIビジネス活用論（英）	2	16	
	思考		ロジカルシンキング（英）	2	デザイン思考/システム思考(英)	2					プロジェクトマネジメント(英)	2					ファシリテーション（英）	2																					8	24
	実践英語						アカデミックリーディング	2	コミュニカティブイングリッシュ	2																														8	8
							アカデミックライティング	2	プレゼンテーションイングリッシュ	2																															
体験実践																			※国内ボランティア	2															国内インターンシップ	2			4	4
日本語（留学生科目）			日本語Ⅰ	2	日本語Ⅳ	2																																				
			日本語Ⅱ	2	日本語Ⅴ	2																																	12	12
			日本語Ⅲ	2	日本語Ⅵ	2																																				
キャップ内				10		10		10		10		10		10		10		10		8		10		5		5		5		3		2		2	120	
キャップ外				2																2																	4	
合計				12		10		10		10		10		10		10		10		10		10		5		5		5		3		2		2	124	

（注1），（注2）：2Q以上にわたって履修する科目については履修後の単位認定とするが，本学のキャップ制においては，複数Qで単位数を均等配分することとする。

凡例：

網掛→必修

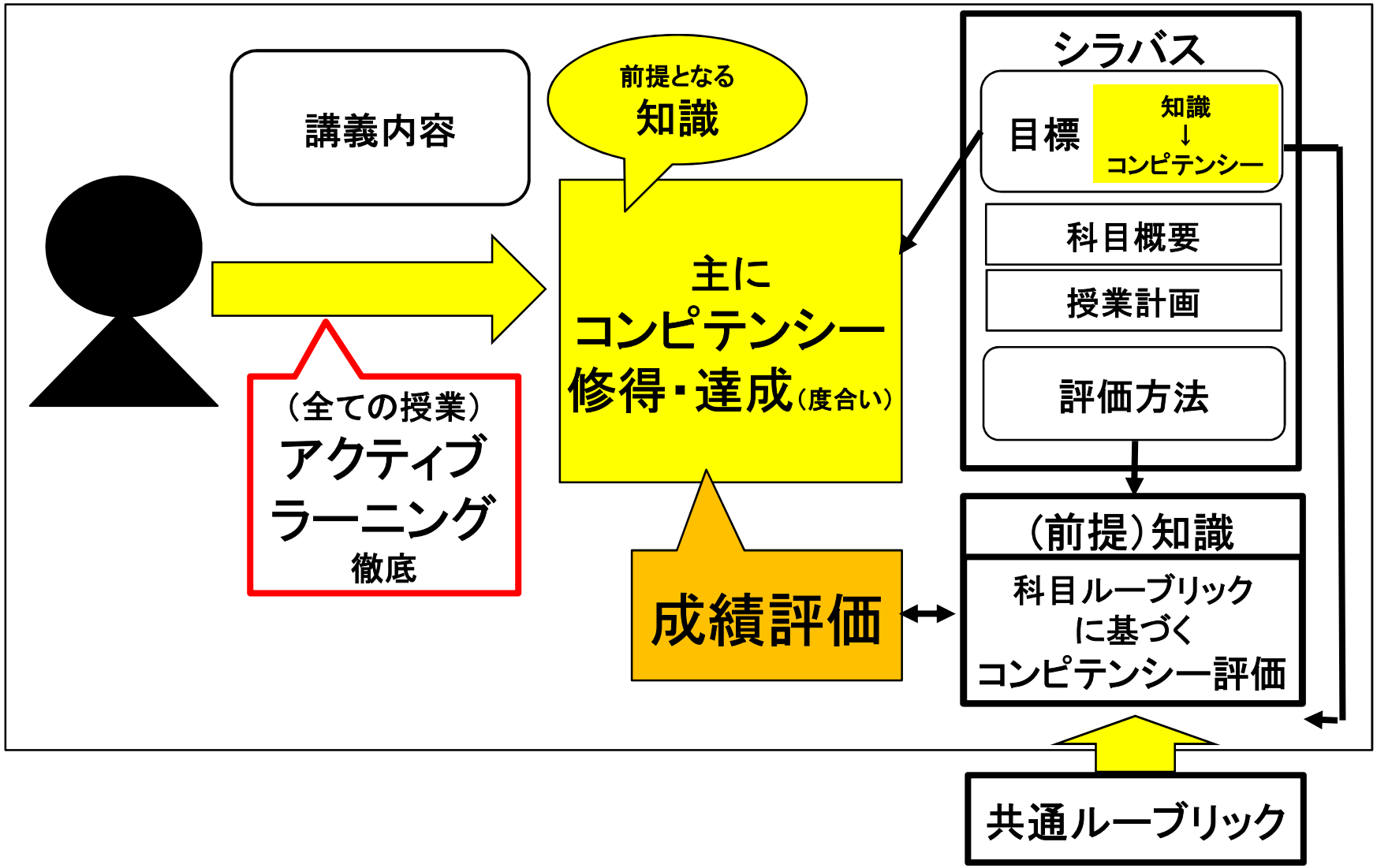
※→クオーター直前のギャップ期間に受講

（日）→日本語開講

（英）→英語開講

資料28-2

コンピテンシーと成績評価の基本的な考え方



資料28-3

共通参照ルーブリック

分類		コンピテンシー	定義	（確認事項）	Rubric1	Rubric2	Rubric3	Rubric4
先見性	本質的な課題を発見する力	**複眼的・多角的視野**	複数の視点から、状況を把握し、問題の原因をつきとめることができる。	様々な角度から問題を分析し、問題の原因を突き止めることができるか？	問題の原因を分析できない。	単一的な視点での分析にとどまる。	多角的に分析するが、原因を突き止めるほどではない。	多角的に分析し、原因を突き止める。
		構想力（課題設定力）	問題の本質が何であるかを見極め、課題を明確にする力	問題の本質が何であるかを見極めるために、納得するまで突き詰めて考え、問いを立てることができるか？	問題の本質を見極めようとせず、表面的なことしか見えていない。	問題の本質を見極めようとするが、表面的な理解にとどまる。	問題の本質を見極めてはいるが、課題設定にまではいたらない。	問題の本質を見極め、課題を設定できる。
		概念的思考力	抽象的な概念を用いて、自らの考えを構築・展開できる力	抽象的な概念を、適切な図表や数値を使って具体的に相手に示すことができるか？	何を伝えたいのか、どうすれば相手に伝わるのかをあまり考えていない。	伝えたいことは明確だが、抽象的な概念整理ができず、いたずらに具体的な情報や数的データを伝えている。	概念整理や場合分け、図表などを駆使できるが、データの取捨選択、図表への変換に難がある。	概念整理や場合分け、図表化などの手法を用い、データを適切にそれらに投影して表現できる。
戦略性	統合的な解決策を戦略的に立案する力	**論理的思考力**	複雑な事象の本質を理解し、物事の因果関係を明確に、論理展開できる力	物事の因果関係を一つ一つ整理することができるか？	物事の因果関係を整理しない。	物事の因果関係の整理を試みる。	物事の因果関係を整理するが、不十分である。	物事の因果関係を相互矛盾なく整理できる。
		課題解決力	課題解決をするための方針・方法を立案することができる力	場当たり的にものごとを進めてしまうのではなく、目標達成までの段取りをつけて課題に取り組んでいる。	目標に至る道筋を計画しない。	計画を立てるが、思いつきで、実現性が低い。	実現可能な計画は立てられるが、検討が不十分。	メリットやデメリットを踏まえて、実現可能な計画を立てることができる。
		情報収集・分析力	知らない分野の情報を積極的に収集・分析することができる力	好き嫌いにかかわらず、いろいろなことに関心を持ち、行動しているか？	興味の幅が狭い。興味のないことに対して拒絶反応を示す。	馴染みのない新しいことに対して、拒絶するわけではないが、特に興味も示さない。	幅広いことに興味を持ち、馴染みのない新しいことに心惹かれるが、自分から積極的に行動を起こすほどではない。	幅広いことに興味をもっている。馴染みのない新しいものに触れることに喜びを感じ、積極的に行動を起こす。
実行力	物事を実行する力	**積極性・主体性**	自らの責任で、何事にも自ら取り組むことができる力	一度決めたことは、途中で投げ出さず、最後まで粘り強く取り組むことができるか？	継続できない。	問題に直面しなくても、途中でやめてしまう。	問題に直面すると、最後までやり遂げることができない。	何があっても諦めずに最後までやり遂げることができる。
		やり抜く力	困難な状況においても、決めたことをやり抜くことができる力	危機的な状況の中でも、絶望せずに前向きに取り組むことができるか？	困難な状況に直面すると「どうせうまくいくはずはない」とネガティブに考えている。	あまり困難な状況でなければ「何とかなるだろう」とポジティブに考えることができる。	ある程度の困難な状況でも「何とかなる」とポジティブに考えることができる。	どんなに困難な状況でも「必ず成功させる」とポジティブに考えることができる。
		リーダーシップ	チームワークの活性化のために自ら進んで貢献することができる力	グループで何かをするとき、グループでの議論の活性化に貢献することができるか？	グループに貢献しようという意識がほとんどなく、そのような行動もほとんどみられない。	自分に何ができるかを考え、貢献しようという意識はあるようだが、行動にはほとんど現れていない。	自分に何ができるかを理解し、貢献しようとする姿勢は見られるが、その行動にはやや意識の低さが散見される。	グループでの自分の役割を理解し、建設的な発言を積極的に行い、議論の活性化に貢献している。
自己研鑽力	自己を高める力	**生涯にわたって学び続ける力**	自らの成長のために目標を持って取り組むことができる力	嫌なことであっても（厳しい道でも）将来のためになると考え、目標を持って取り組んでいるか？	自分がどのような人間になりたいか、自分の成長についての目標を持っていない。	自分なりの目標を持つが、自分の成長を意識して高い目標を設定し行動するほどではない。	自分を成長させるための目標を持って行動しているが、目標と行動には甘さが見られる。	常に自分を成長させるために高い目標を立て、必要なら厳しい道でも敢えて選択し、自己研鑽する行動をしている。
		高い志	未来の目標を持ち、社会的な意義のあるものになるよう貢献できる力	自分の人生が、社会にとっても意義あるものとなる自信を持って、周りを巻き込んでいるか？	中長期的に進むべき夢や理想を何も持っていない。	将来の夢や理想を持っているが、一心不乱に突き進むほどやりがいを感じるものではない。	将来の夢や理想を持ち、目指す価値を感じているが、自信をもって周囲を巻込むほどのものではない。	将来の夢や理想を持ち、自分がわくわくするだけでなく、自信をもって周囲を巻込めるものである。
		倫理観	正しい行い行いを意識し、行動するとともに他者にも働きかける力	他人や仕事に対して、偽りなく、誠実に接しているか？	誠実であろうという意識が低く、偽りやごまかしを行うことにためらいがない。	誠実であろうとするが、都合が悪い状況になると、偽りやごまかしを行いがち。	誠実であろうという意識を強くもち、大抵の場合、行動がともなっている。	自分に都合が悪い状況でも、事の善悪を正しく判断して、行動として表現できる。
グローバルコラボレーション力	多様な主体と協働する力	**多様性の尊重**	自らとは異なる意見の相手を受け入れることができる力	自分とは異なる意見であっても、対立せず、相手の立場を考えて接することができるか？	自分と異なる意見を受け入れることができず、まったく聞き入れようとしない。	異なる意見を受け入れようとする姿勢は見せるが、言動の端々に不満が表れている。	異なる意見を受け入れることができる。	異なる意見がなされた理由を理解した上で、受け入れることができる。
		コミュニケーション能力	自分の考えを伝えて協力を得ることができる力	どうすれば相手の態度や行動を変えることができるか、効果的な方法を知っているか？	どうすれば言動が相手の態度・行動に影響を及ぼすことができるか考えたことがない。	どうすれば言動が相手の態度・行動を変えることができるのか、何となく理解している。	どうすれば言動が相手の態度・行動を変えることができるのか理解しているが、それを言葉にするのは難しい。	どうすれば言動が相手の態度・行動を変えることができるのかをよく理解し、それを他の人にわかりやすく説明できる。
		他者と協働する力	相手の意見や考え方を引き出し、相手と協力することができる力	相手の意見や考えを十分に引き出すように話を聞くことができるか？	相手の話を聞いているように見えるが、ポーズだけで、相手の話にあまり注意を払っていない。	相手の話に注意を払っているが、自分の感情や主張を前に出しがちで、相手の話を十分に受け止めることができない。	相手の話に注意を払うが、共感の示し方がうまくなく、気分よく話をさせることができない。	相手の話をきちんと受け止め、相手の考えや気持ちに共感を示し、気分よく話をさせることができる。

（留意事項）上記の通り定義された各コンピテンシーに対応したルーブリックの内容については、Institution for a Global Society（株）製Ai GROW の関連部分の項目を引用 し設定したものである。

資料28-4

コンピテンシーと科目との対応表

				自己研鑽力			先見性			戦略性			実行力			グローバル・コラボレーション力		
				生涯学び続ける力	高い志	倫理観	複眼的・多角的視野	概念的思考力	構想力	論理的思考力	情報収集・分析力	課題解決力	リーダーシップ	積極性・主体性	やり抜く力	多様性の尊重	コミュニケーション能力	他者と協働する力
リベラルアーツ科目	入門科目	導入	ソーシャルシステムデザイン入門	○			○			○						○		
		人	芸術・文学入門	○			○			○						○		
			哲学・倫理学入門	○			○			○						○		
		社会	経済学入門	○			○			○						○		
			法的思考	○			○			○						○		
		自然	環境学入門	○			○			○						○		
			科学技術倫理入門	○			○			○						○		
		入門選択	数学入門	○			○			○						○		
			健康学入門	○			○			○						○		
	平和・共創	人	心理学概論		○			○									○	
			平和論		○			○									○	
			宗教と歴史		○			○									○	
		社会	経営学概論		○			○									○	
			国際協力・安全保障概論		○			○									○	
			社会学概論		○			○									○	
		自然	生命倫理学概論		○			○									○	
			人工知能概論		○			○									○	
			数学的思考法		○			○									○	
	アイデンティティデザイン	人	多文化共生社会論			○			○									○
			日本文化論			○			○									○
			異文化論			○			○									○
			メディア論			○			○									○
			科学哲学概論			○			○									○
			哲学・倫理学			○			○									○
		社会	公共経営論			○			○									○
			地域協働論			○			○									○
		自然	認知科学概論			○			○									○
			ヘルスケアサービス論			○			○									○
	ビジネスデザイン	人	公共芸術論			○			○									○
			社会心理学概論			○			○									○
		社会	経営戦略・組織論			○			○									○
			マーケティング論			○			○									○
			ファイナンス論			○			○									○
			社会起業家論			○			○									○
			社会経済システム論			○			○									○
			産業・ビジネスモデル論			○			○									○
		自然	バイオテクノロジー論			○			○									○
			科学技術史			○			○									○
	エコシステムデザイン	人	文化人類学概論			○			○									○
			フィールドワーク研究			○			○									○
		社会	環境経済学			○			○									○
			地域活性論			○			○									○
		自然	自然災害論			○			○									○
			都市環境論			○			○									○
			環境工学			○			○									○
			生物多様性論			○			○									○
			地球環境論			○			○									○
			生態学			○			○									○
	実践科目		持続可能な世界と私たち			○			○									○

			自己研鑽力			先見性			戦略性			実行力			グローバル・コラボレーション力		
			生涯学び続ける力	高い志	倫理観	複眼的・多角的視野	概念的思考力	構想力	論理的思考力	情報収集・分析力	課題解決力	リーダーシップ	積極性・主体性	やり抜く力	多様性の尊重	コミュニケーション能力	他者と協働する力
基本ツール科目	ICT・データサイエンス	ICT入門									○						
		プログラミング入門									○						
		ウェブプログラミングとアプリ開発									○						
		情報発信技法								○	○						
		IoT利用による問題解決								○	○						
		データサイエンス概論A								○							
		データサイエンス概論B								○							
		データ分析と統計モデリング								○							
		データ可視化法								○							
		AIビジネス活用論								○							
		データサイエンス実践論								○							
	思考系	ロジカルシンキング							○								
		デザイン思考・システム思考								○							
		プロジェクトマネジメント								○							
		ファシリテーション								○							
		日本語アカデミックライティング							○								
課題解決演習科目	課題解決演習	課題解決入門						○			○	○		○			
		課題解決演習Ⅰa						○			○	○		○			
		課題解決演習Ⅰb						○			○	○		○			
		課題解決演習Ⅱ						○			○	○		○			
	卒業プロジェクト	卒業プロジェクト		○				○			○		○	○			○
体験・実践プログラム	体験・実践プログラム	国内ボランティア			○							○	○	○			○
		国内インターンシップA			○							○	○	○			○
		国内インターンシップB			○							○	○	○			○
		海外ボランティア			○							○	○	○			○
		海外インターンシップ			○							○	○	○			○
		海外短期プログラム			○							○	○	○			○
実践英語	IEP	リスニング英語Ⅰ													○		
		リスニング英語Ⅱ													○		
		ライティング英語Ⅰ														○	
		ライティング英語Ⅱ														○	
		リーディング英語Ⅰ													○		
		リーディング英語Ⅱ													○		
		スピーキング英語Ⅰ														○	
		スピーキング英語Ⅱ														○	
		プレゼンテーション英語基礎Ⅰ														○	
		プレゼンテーション英語基礎Ⅱ														○	
	選択科目	アカデミックリーディング													○		
		アカデミックライティング														○	
		コミュニカティブイングリッシュ														○	
		カレントイングリッシュ														○	
		プレゼンテーションイングリッシュ														○	

※　網掛けは，各科目で育成を図るコンピテンシー（大区分ごとに，主に対応するもの）。○印は，各科目で特に重点を置いて評価を行うコンピテンシー。

資料28-5

科目ルーブリックの例：生命倫理学概論

分類		コンピテンシー	定義		1	2	3	4
先見性	本質的な課題を発見する力	概念的思考力	抽象的な概念を用いて、自らの考えを構築・展開できる力	抽象的な概念を、図表や数値を使って具体的に相手に示すことができるか？	何を伝えたいのか、どうすれば相手に伝わるのかをあまり考えていない。	伝えたいことは明確だが、抽象的な概念整理ができず、いたずらに具体的な情報や数的データを伝えている。	概念整理や場合分け、図表などを駆使できるが、データの取捨選択、図表への変換に難がある。	概念整理や場合分け、図表化などの手法を用い、データを適切にそれらに投影して表現できる。
自己研鑽力	自己を高める力	高い志	未来の目標を持ち、社会的な意義のあるものになるよう貢献できる力	自分の人生が、社会にとっても意義あるものとなる自信を持っているか？	中長期的に進むべき夢や理想を何も持っていない。	将来の夢や理想を持っているが、一心不乱に突き進むほどやりがいを感じるものではない。	将来の夢や理想を持ち、目指す価値を感じているが、自信をもって周囲を巻込むほどのものではない。	将来の夢や理想を持ち、自分がわくわくするだけでなく、自信をもって周囲を巻込めるものである。
グローバルコラボレーション力	多様な主体と協働する力	コミュニケーション能力	自分の考えを伝えて協力を得ることができる力	どうすれば相手の態度や行動を変えることができるか、効果的な方法を知っているか？	どうすれば言動が相手の態度・行動に影響を及ぼすことができるか考えたことがない。	どうすれば言動が相手の態度・行動を変えることができるのか、何となく理解している。	どうすれば言動が相手の態度・行動を変えることができるのか理解しているが、それを言葉にするのは難しい。	どうすれば言動が相手の態度・行動を変えることができるのかをよく理解し、それを他の人にわかりやすく説明できる。

資料29

校舎各室等の状況（専用）

種別	室名	設置階	面積（㎡）	収容人数（人）	備考
研究室	研究室①～⑥	3階	21.9～23.4	1	6室
	研究室⑦～⑫	4階	22.9～23.4	1	6室
	研究室⑬～⑰	5階	21.9～23.4	1	5室
	研究室⑱～㉒	6階	21.9～23.9	1	5室
	研究室㉓～㉖	7階	21.9～23.3	1	4室
	非常勤講師控室	8階	35.0	16	
教室	PBL演習室	3階	242.2	100	
	小講義室①	5階	70.3	30	
	小講義室②	5階	72.3	30	
	小講義室③	6階	70.3	30	
	小講義室④	6階	67.3	30	
	小講義室⑤	7階	70.3	30	
	小講義室⑥	7階	66.3	30	
	小講義室⑦	8階	68.7	30	
	小講義室⑧	8階	67.2	30	
	小講義室⑨	8階	71.7	30	
	小講義室⑩	8階	58.8	24	
	中講義室①	4階	142.6	50	
	中講義室②	4階	99.6	50	
	中講義室③	5階	99.6	40	
	中講義室④	6階	99.6	50	
	中講義室⑤	7階	99.6	50	
	中講義室⑥	8階	93.9	48	
学長室	学長室	2階	25.9	1	
会議室	会議室	2階	37.2	16	
	会議室	8階	95.0	40	
	会議室①	1階	12.6	-	
	会議室②	1階	15.3	-	
	会議室③	1階	9.6	-	
事務室	事務局長室	2階	14.8	1	
	学部長室	2階	13.0	1	
	理事長室	2階	44.3	1	
	事務室①	2階	21.4	5	
	事務室②	2階	14.4	2	
	事務室③	2階	47.6	9	
	事務室④	2階	34.1	8	
	事務室⑤	14階	46.8	10	
	事務室⑥	14階	39.4	4	
	印刷室	4階	15.9	−	
	印刷室	7階	23.9	−	
	応接室①	2階	13.0	−	
	応接室②	2階	13.0	−	
	キャリアセンター	14階	46.8	−	

校舎各室等の状況（専用）

種別	室名	設置階	面積（㎡）	収容人数（人）	備考
図書館	図書室	2階	142.5	−	
	閲覧室	2階	99.6	42	
医務室	医務室	1階	34.8	−	
自習室	自習室	5階	39.1	16	
	自習室	6階	39.0	14	
	自習室	7階	39.1	15	
	ラーニングコモンズ	14階	180.0	59	
学生控室	学生控室①，②	3階	45.9	16	2室
	学生控室①a，①b，②a，②b	3階	24.0～25.6	12	4室
	学生控室③，⑥	4階	45.9～48.9	24	2室
	学生控室④，⑤	4階	45.9	16	2室
	学生控室⑦，⑧	5階	45.9	16	2室
	学生控室⑦a，⑦b，⑧a，⑧b	5階	24.0～25.6	12	4室
	学生控室⑨，⑩	6階	45.9	16	2室
	学生控室⑨a，⑨b，⑩a，⑩b	6階	24.0～25.6	12	4室
	学生控室⑪，⑫	7階	45.9	16	2室
	学生控室⑪a，⑪b，⑫a，⑫b	7階	24.0～25.6	12	4室
	休憩スペース	15階	424.5	159	
その他	キャリアコーナー	14階	51.2	−	
	プロジェクトルーム	1階	156.1	−	
	コミュニティルーム	1階	79.2	−	
	サーバ室	3階	15.9	−	
	国際交流センター・英語カフェ	14階	214.6	−	
	相談室	14階	23.9	−	
	調理室	15階	143.3	−	

資料30

学術雑誌等一覧

【内国誌】

［ 冊子30種 ］

No.	雑誌名	出版社	数量	種別
1	ニューズウィーク日本版	株式会社CCCメディアハウス	1	冊子
2	週刊　東洋経済	東洋経済新報社予約サービスセンター	1	冊子
3	エコノミスト	毎日新聞出版株式会社	1	冊子
4	世界	岩波書店	1	冊子
5	現代思想	青土社	1	冊子
6	ユリイカ	青土社	1	冊子
7	日経ビジネス	株式会社 日経BP読者サービスセンター	1	冊子
8	科学技術社会論研究	科学技術社会論学会	1	冊子
9	生命倫理	日本生命倫理学会	1	冊子
10	テレコミュニケーション	株式会社　リックテレコム	1	冊子
11	ナショナルジオグラフィック 日本語版	株式会社 日経BP読者サービスセンター	1	冊子
12	ニュートン	ニュートンプレス	1	冊子
13	ダイヤモンド　ハーバードビジネスレビュー	株式会社　ダイヤモンド社	1	冊子
14	プレジデント	株式会社　プレジデント社	1	冊子
15	会社四季報	東洋経済新報社予約サービスセンター	1	冊子
16	週刊ダイヤモンド	株式会社　ダイヤモンド社	1	冊子
17	天文ガイド	誠文堂新光社	1	冊子
18	日経Linux	株式会社 日経BP読者サービスセンター	1	冊子
19	日経NETWORK	株式会社 日経BP読者サービスセンター	1	冊子
20	日経サイエンス	株式会社　日経サイエンス	1	冊子
21	日経ソフトウェア	株式会社 日経BP読者サービスセンター	1	冊子
22	留学ジャーナル	留学ジャーナル	1	冊子
23	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	1	冊子
24	Interface	CQ出版株式会社	1	冊子
25	Mac Fan	(株)マイナビ	1	冊子
26	ダビンチ	KADOKAWA	1	冊子
27	Software Design	技術評論社	1	冊子
28	図書新聞	武久出版株式会社	1	冊子
29	週刊　読書人	読書人	1	冊子
30	Tarzan	マガジンハウス	1	冊子

【外国誌】

冊子11種，電子7種
電子ジャーナルデータベース1（総タイトル18,900以上）

No.	雑誌名	出版社	数量	種別
1	East Asian Science, Technology and Society	DUKE UNIVERSITY PRESS	1	EJ
2	Hastings Center Report	John Wiley & Sons Ltd(KOBETSU)	1	EJ
3	Communications of the ACM (CACM)	ASSN COMPUTING MACHINERY	1	EJ
4	IEEE Magazines: Computer Magazine	IEEE	1	EJ
5	IEEE Computer Graphics and Applications	IEEE	1	EJ
6	IEEE Internet Computing	IEEE	1	EJ
7	IEEE Security & Privacy	IEEE	1	EJ
8	New Scientist	Reed Business Publishing	1	冊子
9	TIME		1	冊子
10	Economist	Economist Newspaper Ltd.	1	冊子
11	Discover		1	冊子
12	ENGLISH JOURNAL	NCTE	1	冊子
13	Nature	Nature Research Journals	1	冊子
14	Popular Mechanics	HEARST MAGAZINES	1	冊子
15	Science	AM ASSN FOR ADV SCIENCE	1	冊子
16	Scientific American	SCIENTIFIC AMERICAN	1	冊子
17	Sky & Telescope	SKY PUBLISHING	1	冊子
18	Wired	CONDE NAST PUBLICATIONS, INC	1	冊子
その他	Academic One File	Gale	1	EJ

【オンラインデータベース（内国品）】

［ 6種 ］

No.	製品名	出版社	数量	種別
1	日経BP記事検索	日経BP社	1	オンライン
2	日経テレコン21	日経メディアマーケティング	1	オンライン
3	ざっさくプラス	皓星社	1	オンライン
4	聞蔵Ⅱビジュアル	朝日新聞社	1	オンライン
5	論座	朝日新聞社	1	オンライン
6	都道府県統計書データベース	丸善雄松堂	1	オンライン

【オンラインデータベース（外国品）】

［ 1種 ］

No.	品名	出版社	数量	種別
1	Gale グローバル人材育成データベースパッケージ ・Gale Global Issues in Context ・Gale Opposing Viewpoint in Context ・Gale Lingo	Gale	1	オンライン

【視聴覚資料】　＊オンライン

［ 80点 ］

No.	品名	出版社	数量
1	身体を構成するもの 【動画】（生命の科学 . ヒトとは vol.1） （※）	医学映像教育センター	1
2	外部情報の獲得と精神機能 【動画】（生命の科学 . ヒトとは vol.2） （※）	医学映像教育センター	1
3	随意運動のしくみ 【動画】（生命の科学 . ヒトとは vol.3） （※）	医学映像教育センター	1
4	生命を継ぐ 【動画】（生命の科学 . ヒトとは vol.4） （※）	医学映像教育センター	1
5	血液循環の機能 【動画】（生命の科学 . 生命の維持システム vol.5） （※）	医学映像教育センター	1
6	栄養の摂取と利用 【動画】（生命の科学 . 生命の維持システム vol.6） （※）	医学映像教育センター	1
7	内部環境の維持 【動画】（生命の科学 . 人体の防御システム vol.7） （※）	医学映像教育センター	1
8	防御のしくみ 【動画】（生命の科学 . 人体の防御システム vol.8） （※）	医学映像教育センター	1
9	細胞 —からだを作る60兆個の細胞たち—【動画】（人体を学ぶための理科 . 生物編 vol.1） （※）	医学映像教育センター	1
10	生殖と発生 —命はどのようにして誕生するの?—【動画】（人体を学ぶための理科 . 生物編 vol.2） （※）	医学映像教育センター	1
11	遺伝 —なぜ、子どもは親に似るの?—【動画】（人体を学ぶための理科 . 生物編 vol.3） （※）	医学映像教育センター	1
12	原子 —生命の源、原子と化学記号—【動画】（人体を学ぶための理科 . 化学編 vol.1） （※）	医学映像教育センター	1
13	化学反応 —物質の変化を式で表してみよう!—【動画】（人体を学ぶための理科 . 化学編 vol.2） （※）	医学映像教育センター	1
14	酸と塩基 —酸って何!?塩基って何!?—【動画】（人体を学ぶための理科 . 化学編 vol.3） （※）	医学映像教育センター	1
15	力学 —腕力より力学の真髄をきわめよう!—【動画】（人体を学ぶための理科 . 物理編 vol.1） （※）	医学映像教育センター	1
16	電気 —電子が見えれば電気がわかる—【動画】（人体を学ぶための理科 . 物理編 vol.2） （※）	医学映像教育センター	1
17	波 —物質は進まず形が進む!波の正体とは?—【動画】（人体を学ぶための理科 . 物理編 vol.3） （※）	医学映像教育センター	1
18	岩手県 釜石市／大槌町　見えてきた復興のすがた　～その課題と展望～　（動画版） —その課題と展望 : 岩手県釜石市/大槌町—（東日本大震災復興まちづくりの現在 : 2013年秋 第1巻） （※）	丸善出版	1
19	宮城県 山元町　コンパクトシティをめざして　～自治体主導による創造的復興～　（動画版） —自治体主導による創造的復興 : 宮城県山元町—（東日本大震災復興まちづくりの現在 : 2013年秋 第2巻） （※）	丸善出版	1
20	岩手県 大船渡市　自律する集落と町の広域復興　～その組み立てと編集～　（動画版） —その組み立てと編集 : 岩手県大船渡市—（東日本大震災復興まちづくりの現在 : 2013年秋 第3巻） （※）	丸善出版	1
21	宮城県 気仙沼市 内湾地区　ジョイントガバナンスは可能か　～多様な主体の共創～　（動画版） —多様な主体の共創 : 宮城県気仙沼市内湾地区—（東日本大震災復興まちづくりの現在 : 2013年秋 第4巻） （※）	丸善出版	1
22	岩手県 山田町 漁村文化の継承　（動画版） —岩手県山田町—（東日本大震災復興まちづくりの現在 : 2013年秋 第5巻） （※）	丸善出版	1
23	宮城県 石巻市 まちづくり市民事業の連携　（動画版） —宮城県石巻市—（東日本大震災復興まちづくりの現在 : 2013年秋 第6巻） （※）	丸善出版	1
24	福島県 浪江町　夢を復興の力に　～浪江町民の闘い～　（動画版） —浪江町民の闘い : 福島県浪江町—（東日本大震災復興まちづくりの現在 : 2013年秋 第7巻） （※）	丸善出版	1
25	証言篇　そのとき何を考えたのか　～そして今～　（動画版） —そして今 : 証言篇—（東日本大震災復興まちづくりの現在 : 2013年秋 第8巻） （※）	丸善出版	1
26	テーマ1　自分たちのまち（地域）をもっと知ろう／テーマ2　復興まちづくりの始まり　（動画版） （協働復興まちづくり～阪神・淡路大震災の住民活動に学ぶ～ 第1巻） （※）	丸善出版	1
27	テーマ3　まちの復興はどのように進むか～復興の拠点づくり／テーマ4　まちの復興はどのように進むか～区画整理地区　（動画版） （協働復興まちづくり～阪神・淡路大震災の住民活動に学ぶ～ 第2巻） （※）	丸善出版	1
28	テーマ5　まちの復興はどのように進むか～地区計画／テーマ6　住宅再建　（動画版） （協働復興まちづくり～阪神・淡路大震災の住民活動に学ぶ～ 第3巻） （※）	丸善出版	1
29	テーマ7　コミュニティの再生／テーマ8　住民と行政と専門家の協働　（動画版） （協働復興まちづくり～阪神・淡路大震災の住民活動に学ぶ～ 第4巻） （※）	丸善出版	1
30	細胞と組織 【動画】（目で見る医学の基礎 第2版 1） （※）	医学映像教育センター	1
31	認知心理学　—そのプロフィール— 【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 1） （※）	サンエデュケーショナル	1

No.	品名	出版社	数量
32	知覚　―情報の入力―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 2）　（※）	サンエデュケーショナル	1
33	注意　―情報の選択―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 3）　（※）	サンエデュケーショナル	1
34	記憶　I　―情報の貯蔵―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 4）　（※）	サンエデュケーショナル	1
35	記憶　II　―実生活の中で―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 5）　（※）	サンエデュケーショナル	1
36	思考　I　―問題解決と推論―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 6）　（※）	サンエデュケーショナル	1
37	思考　II　―判断と意思決定―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 7）　（※）	サンエデュケーショナル	1
38	言語　―情報の伝達―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 8）　（※）	サンエデュケーショナル	1
39	社会的認知　―人を認知する―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 9）　（※）	サンエデュケーショナル	1
40	動物の認知　―適応の手段としての認知―　【動画】（現代心理学シリーズ　認知心理学 10）　（※）	サンエデュケーショナル	1
41	ミクロ経済学とは　～資源の配分を考える～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 1）　（※）	サンエデュケーショナル	1
42	需要と供給　～市場メカニズムで価格が決まる～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 2）　（※）	サンエデュケーショナル	1
43	市場の失敗　～市場は万能の神ではない～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 3）　（※）	サンエデュケーショナル	1
44	家計とミクロ経済　～効用を最大化する消費行動～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 4）　（※）	サンエデュケーショナル	1
45	企業とミクロ経済　～利益を最大化する生産活動～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 5）　（※）	サンエデュケーショナル	1
46	不完全競争　～独占の弊害と規制～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 6）　（※）	サンエデュケーショナル	1
47	賃金の決まり方　～自助努力と所得再分配～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 7）　（※）	サンエデュケーショナル	1
48	ゲーム理論　～戦略的行動の帰結～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 8）　（※）	サンエデュケーショナル	1
49	不完全情報　～情報発信の重要性～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 9）　（※）	サンエデュケーショナル	1
50	限定合理性　～行動経済学への誘い～　【動画】（プライマリー ミクロ経済学入門 10）　（※）	サンエデュケーショナル	1
51	経済学とは ―暮らしの中の経済学―【動画】（プライマリー経済学入門 1）　（※）	サンエデュケーショナル	1
52	市場は人類の大発明 ―価格はどう決まる―【動画】（プライマリー経済学入門 2）　（※）	サンエデュケーショナル	1
53	家計は効用を最大化する ―どちらの商品を選ぶ?―【動画】（プライマリー経済学入門 3）　（※）	サンエデュケーショナル	1
54	企業は利益を最大化する ―儲かる秘訣ってなに?―【動画】（プライマリー経済学入門 4）　（※）	サンエデュケーショナル	1
55	マクロ経済とGDP ―需要と供給、どちらが重要?―【動画】（プライマリー経済学入門 5）　（※）	サンエデュケーショナル	1
56	貿易と経済のグローバル化 ―格安ショップのからくり―【動画】（プライマリー経済学入門 6）　（※）	サンエデュケーショナル	1
57	金融の仕組み ―お金は経済の潤滑油―【動画】（プライマリー経済学入門 7）　（※）	サンエデュケーショナル	1
58	景気と日本銀行 ―お小遣いはなぜ上がらない―【動画】（プライマリー経済学入門 8）　（※）	サンエデュケーショナル	1
59	市場の失敗と政府の役割 ―シャッター街を防げ―【動画】（プライマリー経済学入門 9）　（※）	サンエデュケーショナル	1
60	経済学で社会を見る ―今後の課題を考える―【動画】（プライマリー経済学入門 10）　（※）	サンエデュケーショナル	1
61	経営学とはどんな学問か? ―企業は続くよ、どこまでも―【動画】（プライマリー経営学入門 1）　（※）	サンエデュケーショナル	1
62	マネジメント・経営管理の誕生 ―それは組織の検証から始まった―【動画】（プライマリー経営学入門 2）　（※）	サンエデュケーショナル	1
63	人的資源管理の重要性 ―伸びる会社は社員が元気―【動画】（プライマリー経営学入門 3）　（※）	サンエデュケーショナル	1
64	経営の意思決定と生産管理 ―経済大国日本の光と影―【動画】（プライマリー経営学入門 4）　（※）	サンエデュケーショナル	1
65	企業の経営戦略とは ―会社は何度も生き返る―【動画】（プライマリー経営学入門 5）　（※）	サンエデュケーショナル	1
66	競争戦略のいろいろ ―自動車は何を基準に選ぶ?―【動画】（プライマリー経営学入門 6）　（※）	サンエデュケーショナル	1
67	市場で勝ち残るマーケティング戦略 ―ヒットの秘訣は顧客にあり―【動画】（プライマリー経営学入門 7）　（※）	サンエデュケーショナル	1
68	財務管理とロジスティクス ―お金とモノ・流れをつかんで勝利する―【動画】（プライマリー経営学入門 8）　（※）	サンエデュケーショナル	1
69	バリューチェーンとブランド価値 ―経営者は何を目指す?―【動画】（プライマリー経営学入門 9）　（※）	サンエデュケーショナル	1

No.	品名	出版社	数量
70	CSRとコーポレートガバナンス —企業は誰のもの?—【動画】（プライマリー経営学入門 10） （※）	サンエデュケーショナル	1
71	金融論を学ぶ —金融はじめて物語—【動画】（プライマリー金融論入門 1） （※）	サンエデュケーショナル	1
72	貨幣の役割と通貨の循環 —お金の動きを注視せよ—【動画】（プライマリー金融論入門 2） （※）	サンエデュケーショナル	1
73	間接金融と銀行 —信用第一は誰のため—【動画】（プライマリー金融論入門 3） （※）	サンエデュケーショナル	1
74	直接金融と証券市場 —株式相場より企業を見よ—【動画】（プライマリー金融論入門 4） （※）	サンエデュケーショナル	1
75	金利の役割と仕組み —1%は運命の分かれ道か—【動画】（プライマリー金融論入門 5） （※）	サンエデュケーショナル	1
76	コーポレートファイナンス —最適資本構成をめざす—【動画】（プライマリー金融論入門 6） （※）	サンエデュケーショナル	1
77	為替の仕組みと影響 —交換が世界を変える—【動画】（プライマリー金融論入門 7） （※）	サンエデュケーショナル	1
78	資産運用と金融リスク —リスクとリターンの攻防—【動画】（プライマリー金融論入門 8） （※）	サンエデュケーショナル	1
79	日銀の役割と金融政策 —世界は不況に何を学ぶ—【動画】（プライマリー金融論入門 9） （※）	サンエデュケーショナル	1
80	金融危機と金融秩序 —危機は変化へのチャンス—【動画】（プライマリー金融論入門 10） （※）	サンエデュケーショナル	1